学校コード F129110109206

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 研究科の専攻の設置又は課程の変更



注1

注2

奈良教育大学大学院 教育学研究科 教職開発専攻

【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人奈良国立大学機構 令和5年5月1日現在

作成担当者

(夜間)

担当部局(課)名 企画·財務課

戦名・氏名 主任 吉田木綿子

電話番号 0742-27-9139

e — mail kikakugr@nara-edu.ac.jp

0742-27-9116

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087,html

目次

教育学研究科

<教	文職開発専攻>	^ °−	・ジ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 5
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	16
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	1 7
6.	附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	48
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•	49

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人奈良国立大学機構

- (2) 大 学 名 奈良教育大学大学院
- (3) 調査対象大学等の位置

〒630-8528 奈良県奈良市高畑町

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
理事長		(サカキ ヒロユキ) 榊 裕之 (令和4年4月)	令和4年4月1日、法人統合 により理事長職を新設した (4)。
学 長	(カトウ ヒサオ) 加藤 久雄 (平成27年10月)	(ミヤシタ トシヤ) (カトウ ヒサオ) 宮下 俊也 加藤 久雄 (令和4年4月) (平成27年10月)	令和4年3月31日付の加藤学 長退任に伴い、令和4年4月 1日、後任者が就任した (4)。
研究科長	(カトウ ヒサオ) 加藤 久雄 (平成27年10月)	(コシノ カズユキ) (ミヤシタートシヤ) (カトウーヒサオー) 越野 和之 宮下 俊也 加藤 久雄 (令和5年4月) (マ和27年10月)	研究科長は学長が兼任する ため、令和4年4月1日、学 長退任に伴い後任者が就任 した(4)。 研究科長に関する規則が改 正され、令和5年4月1日、 越野和之が就任した (5)。

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - <u>「大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを</u>別ファイルにて提出してください。

- 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが
- 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	VHI 25
教職開発専攻 教職修士 (専門職)	教員養成関係	2	50 人	2年次 0 人 3年次 - 人 4年次 - 人	100	-	【基礎となる学部】 教育学部

- 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の 「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成3	0年度	令和法	元年度	令和:	2 年度	令和:	3 年度	令和 4	4 年度	令和5	5年度	平均入学	平均入学 定員超過率	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	定員超過率	(控除後)	充 足 率	(控除後)	VĦ	75
A 入学定員	- 人	人 -	- 人	- 人 -	- 人	- 人 -	- 人	- 人 -	50人 5	-人 i0	50人 50							
A 入学定員	(-) -]	(-	-) -]	(-	-) -]	(-	-) -]	(- [-	-) -]	(-] -	·)						
志願者数	- (-) [-]	49 (-) [-]	- (-) [-]	54 (-) [-]	- (-) [-]													
受験者数	- (-) [-]	49 (-) [-]	- (-) [-]	52 (-) [-]	- (-) [-]	0.87倍	-	0.86倍	_									
合格者数	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	47 (-) [-]	- (-) [-]													
B 入学者数	- (-) [-]	43 (-) [-]	- (-) [-]	44 (-) [-]	- (-) [-]													
入学定員超過率 B/A		=		-		=	-	=	0.	86	0.8	88						

- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。) (注) •
 - ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 -)内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、 (())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - · <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - []内には、 $\underline{\mathbf{a}}$ 学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 - なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。

計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、

報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
- 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。 なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて
- 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を通用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1,00倍以下の場合や、1,00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成3	0年度	令和力	元年度	令和 2	2年度	令和(3年度	令和 4	1年度	令和 5	5年度		備	考
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1	1 /⊞	15
	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	44	-			
1 年次		-			[-]					[-]	[-]	[-]			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	-		
2 年次	,			[-]	[-]	[-]	[-]		[-]	[-]	[-]	[-]			
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		$\overline{}$			=	-	-	=	=	=	-	=			
3 年次	/		/		[-]	. ,	[-]	. ,	[-]	[-]	[-]	[-]			
			_		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	-		
4 年次			,		,		[-]	[-]	- 1	[-]	- [-]	- - 1			
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		-	-	=	-	=	-	=.	4	2	8	6	1		
計	[-]	[-	-]	١.	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]			
	(-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ []内には、<u>留学生の状況について、内敷で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ () 内には、<u>留年者の状況について、内敷で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、<u>各年度の季季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	在学者数(b)	退学者数(a)	1	内訳	:者数	主な退学理由
対象年度	1 1 2 1 2	27 134(1)	入学した年度	返子	うち留学生数	(留学生の理由は[]書き)
T # 00 F F			T * 0 0 5 5			
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	,	人	平成30年度	人	人	
151456 1 12	~	^	令和元年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	,	人	令和元年度	Д	Д	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	42 人	1 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1人	0 人	他大学大学院に進学
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和5年度	86 人	0 人	令和2年度	人	人	
は加り牛皮	00 X	٠٨	令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		1人		1人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- (5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) = 0 = 96 【令和元年度 令和元年度の退学者数(a) = 0 = 96 【令和元年度の退学者数(b) = 0 = 96 【令和2年度】 令和2年度の退学者数(b) = 0 = 96 【令和3年度 (a) (a) (a) 96 【令和3年度の退学者数(b) = 0 = 96 【令和4年度 (a) 96 【令和4年度 (a) 96 【令和4年度 96 【令和4年度 96 【令和4年度 96 【令和5年度 96 【令和5年度

_ = ____

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

0

2 授業科目の概要

<教育学研究科 教職開発専攻>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

単位数 専任教員等の配置 配 当年 次 授業科目の名称 必選自 教 准 講 助 助 教 部 粉 手 ESD-SDGsの理論と実践 教育課程の開発と改善 1後 2 特別支援教育の教育課程論 2 1前 する領域 な指導方法に関 指導と評価の一体化 2 1前 道徳教育の理論と実践 1前 2 2 ユニバーサルな授業デザイン 1後 生徒指導と子どもの心 1後 2 1 欧に関する領域 佐指導及び教育 発達理論と教育実践 1前 2 2 発達障害児の理解と支援 1前 経営に関す 学級経営の基礎・基本 1前 2 学校組織とアカウンタビリティ 2前 2 2 特別支援教育と学校・学級経営 1後 を を り方に関い は 教師の発達とキャリア教育 1前 2 学校危機管理論 2 1後 る する 領 の 1後 2 インクルーシブ教育原論 0 30 0 6 8 1 0 0 小計(15科目) 課題探求実習 1通 13 13 1 課題解決実習A 2通 5 12 12 課題解決実習B (特別支援教育) 2通 5 2 2 へき地学校実習 1・2前 5 小計(4科目) 5 12 0 13 13 1 0 0 0 遠隔教育実践演習 1後 2 2 2 デジタル教材作成演習 1前 学習の基盤力向上のための ICT活用演習 1前 2 STEAM教育演習 2 1後 授業力応用演習 1前 2 授業力基礎演習 1前 小計(6科目) 0 12 0 2 5 0 0 0 6 課題研究 I 2 44 36 1前·後 1 研究科目 課題研究Ⅱ 2前·後 44 36 小計(2科目) 44 1 0 0 0 36 0 0 カリキュラム・マネジメント実践論 1·2後 2 2 教師の成長と授業研究 1·2前 2 地域とつくる学校 1.2前 学級・学校づくりと特別活動 1.2後 2 学級経営実践論 2 1・2前 学級集団づくりの実践分析研究 1・2後 2 ESDと総合的な学習の時間特講 1・2後 2 2 ESDカリキュラムマネジメント 1·2前 2 ESDと地域創生 1.2後 2 SDGsフィールドワーク 1・2前 2 ESDと郷土教育・総合学習 1・2前 学校教育の情報化特論 1・2前 2 1·2後 2 教育のためのデータサイエンス 1·2後 2 体系的なプログラミング教育 2 2 授業支援ツールを活用した授業設計 1・2前 小計(15科目) 0 30

【令和5年度】

	科目	授業科目の名称	配当	必必	単位数 選	自	専教	任教	員等	の配助	置助	· 用
	区分	按案件目 00 名标	年 次	6 修	択	曲	扱授	牧授	師	教	助手	兼担
	び教 実育 施課	ESD-SDGsの理論と実践	1前・ 後		2		1	1				
	域 関の	教育課程の開発と改善	1後		2		1					ĺ
	(す編 る成 領及	特別支援教育の教育課程論	1前		2		1					
		指導と評価の一体化	1前		2			1				
	な指導方は する領	道徳教育の理論と実践	1前		2							
	域 域 に践 関的	ユニバーサルな授業デザイン	1後		2							
	相生談徒	生徒指導と子どもの心	1後		2		3	1				
専攻	に指 関導 す及	発達理論と教育実践	1前		2		1					
共通科	。 るび 領教 域育	発達障害児の理解と支援	1前		2		1	1				
目	経学営級	学級経営の基礎・基本	1前		2			1	1			
	に経 関営	学校組織とアカウンタビリティ	2前		2			1	ì			
	す及 るび 領学							ļ '	·			
	域校	特別支援教育と学校・学級経営	1後		2		1					L
	在学 り校 方教	教師の発達とキャリア教育	1前		2		1					
	に育 域関と す教	学校危機管理論	1後		2							
	り数 る員 領の	インクルーシブ教育原論	1後		2			1				
		小計(15科目)	-	0	30	0	9	7	1	0	0	
		課題探求実習	1通	5			16	12	1			
	実 習 科 目	課題解決実習A	2通		5		14	10	1			
		課題解決実習B (特別支援教育)	2通		5		3	2				
実		へき地学校実習	1・2前		2		2	5				
践科	L.	小計(4科目)		5	12	0	16	12	1	0	0	
目		遠隔教育実践演習	1後		2		3					
		デジタル教材作成演習	1前		2		2					
	演	学習の基盤力向上のための ICT活用演習	1前		2		2					
	演習科目	STEAM教育演習	1後		2							
	Ħ	授業力応用演習	1前		2			1				
		授業力基礎演習	1前		2		1	3				L
		小計(6科目)	-	0	12	0	4	4	0	0	0	
研究	研究	課題研究I	1前・後				52	30	2			
究 科 目	究 科 目	課題研究Ⅱ	2前・後	_	<u> </u>	<u> </u>	52	30	2	Ŀ	_	L
4		小計(2科目)	-	4	0	0	52	30	2	0	0	
		カリキュラム・マネジメント実践論 数師の成長と奨業研究	1・2後		2		1					
		教師の成長と授業研究 地域とつくる学校	1・2前		2		1					
		学級・学校づくりと特別活動	1・2後		2		ľ	1				
		学級経営実践論	1.2前		2			1				
	*	学級集団づくりの実践分析研究	1.2後		2			1				
	校教	ESDと総合的な学習の時間特講	1.2後		2			2				
専門科	校教育マネジメント科	ESDカリキュラムマネジメント	1・2前		2			1				
科目	ジメ	ESDと地域創生	1·2後		2			1				
	ント料	SDGsフィールドワーク	1-2前		2			1				
	Ë	ESDと郷土教育・総合学習	1・2前		2		1					
		学校教育の情報化特論	1・2前		2		2					
		教育のためのデータサイエンス	1·2後		2		1					
		体系的なプログラミング教育	1·2後		2		2					
		授業支援ツールを活用した授業設計	1・2前		2		2					L
		小計(15科目)	_	0	30	0	8	6	0	0	0	

8

		l	Ĺ	单位数	故	専	任教	員等	の配	置	兼任	1 1				l	į	単位	数	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選択	自由	教--------------------------------------	准教授	講師	助教	助王	兼担			科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自由	教--------------------------------------	准教授	講師	助物	助王	兼担
	学校教育と心理学	1-2前	186	2	ш	18	18	Bili	2 X	+	1				学校教育と心理学	1·2前	185	2		fX	1¥	Pili	4X	-	1
	子どもの「学び」と心理学	1・2前		2							1				子どもの「学び」と心理学	1-2前		2						ı	1
	教育と臨床	1・2前		2			1								教育と臨床	1・2前		2			1			1	
	子どもの発達の理解と支援	1·2後		2							2				子どもの発達の理解と支援	1·2後		2						1	2
	学校臨床の理論と実践	1・2前		2		1									学校臨床の理論と実践	1-2前		2		1				ı	1
	学級集団と心理学	1・2前		2		1									学級集団と心理学	1・2前		2		1				ı	
	教育支援と子どもの権利	1・2前		2							1				教育支援と子どもの権利	1・2前		2						ı	1
	学級集団のアクションリサーチ	1·2後		2		1									学級集団のアクションリサーチ	1·2後		2		1				1	
	子どもの権利を踏まえた教育支援の実践	1·2後		2							1				子どもの権利を踏まえた教育支援の実践	1·2後		2						1	1
	保育・幼児教育の内容論と実践の展開	1・2前		2		1									保育・幼児教育の内容論と実践の展開 (未開講)	1・2前		2			1			1	
	幼小連携・接続の理論と実践の展開	1·2後		2		2									幼小連携・接続の理論と実践の展開	1·2後		2		1	1			1	
	幼年教育の理論と実践	1・2前		2		1									幼年教育の理論と実践(未開講)	1·2前		2		1				ı	
教	魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運営	1·2後		2		2								教育	魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運 営	1·2後		2		1	1			ı	
教育発	幼年心理の理論と保育	1・2前		2			1							育 発	- 幼年心理の理論と保育(未開講)	1·2前		2			1			1	
発 達 支 援	幼児理解を深めるための実践研究	1·2後		2			1							発 達 支 援	幼児理解を深めるための実践研究	1·2後		2			1			1	
科目	子ども家庭福祉の理論と実践	1・2前		2							1			科目	子ども家庭福祉の理論と実践	1·2前		2						1	1
	子育て支援の理論と実践	1·2後		2							1				子育て支援の理論と実践	1·2後		2						ı	1
	保育・幼児教育の質の確保と向上	1・2前		2							1				保育・幼児教育の質の確保と向上	1・2前		2						1	1
	保育・幼児教育の質的研究	1・2前		2							1				保育・幼児教育の質的研究(未開講)	1・2前		2						ı	1
	LD児・ADHD児の理解と支援	1・2後		2							1				LD児・ADHD児の理解と支援	1·2後		2						1	1
	特別支援教育の生理・病理	1.2後		2		1									特別支援教育の生理・病理	1.2後		2		1				1	
	重度障害児の理解と支援	1・2前		2		1									重度障害児の理解と支援	1・2前		2		1				1	
	特別支援教育アセスメント事例研究	1・2前		2		2	1	1			1				特別支援教育アセスメント事例研究	1-2前		2		3	2			ı	1
	特別支援教育コーディネーター論	1.2後		2		2	1	1			1				特別支援教育コーディネーター論	1.2後		2		3	2			ı	1
	特別支援教育のシステム論	1.2後		2		1	·	ľ			'				特別支援教育のシステム論	1.2後		2		1	•			1	
	特別支援教育の心理学	1.2前		2		Ċ					1				特別支援教育の心理学	1.2前		2		ľ				ı	1
専門	自閉症児の理解と支援	1.2後		2				1			ļ '		専門		自閉症児の理解と支援	1.2後		2			1			ı	Ė
科目	小計(27科目)	-	0	54	0	6	3	1	0	0	10		科目		小計(27科目)	-	0	54	0	6	5	0	0	0	11
	ESDとしての教育実践(言語・社会科学領	1・2前	Ť	2	Ť	_	1		_	_	5				ESDとしての教育実践(言語・社会科学領	1・2前	Ť	2	Ť	Ť	_	_	_	H	3
	域) ESDとしての教育実践(理数・生活科学領	1・2前		2			1				5				域) ESDとしての教育実践(理数・生活科学領	1.2前		2			1			1	5
	域) ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領	1・2前		2		1	•				5				域) ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領	1-2前		2		1				1	3
	域) 教科の原理と授業づくり(国語)	1・2前		2		2	1								域)(未開講) 教科の原理と授業づくり(国語)	1-2前		2		1	1			1	1
	ICTを含む授業実践(国語)	1.2後		2		2	1								ICTを含む授業実践(国語)	1.2後		2		1	1			1	1
	教科内容と教材開発(古典文学) I	1.2前		2		1	1				1				教科内容と教材開発(古典文学) I	1.2前		2		1	1			1	1
	教科内容と教材開発(古典文学)Ⅱ	1.2後		2		1	1				ļ '				(未開講) 教科内容と教材開発(古典文学)Ⅱ	1.2後		2		1	1			1	Ė
	教科内容と教材開発(近代文学) I	1.2前		2		2	•								教科内容と教材開発(近代文学) I	1.2前		2		1	ľ			1	1
	教科内容と教材開発(近代文学)Ⅱ	1.2後		2		2									教科内容と教材開発(近代文学)Ⅱ	1.2後		2		1				1	ľ
	教科内容と教材開発(語彙・文法)	1.2前		2		-					1				教科内容と教材開発(語彙・文法)	1.2前		2		•		1		1	ļ .
	教科内容と教材開発(音声言語)	1.2後		2		1					ľ				(未開講) 教科内容と教材開発(音声言語)	1.2後		2				ì		1	1
教	教科の原理と授業づくり(社会)	1.2前		2		3	2				ļ '			教	教科の原理と授業づくり(社会)	1.2前		2		3	1	Ċ		1	2
料教	ICTを含む授業実践(社会)	1.2後		2		1	2				1			科教	ICTを含む授業実践(社会)	1.2後		2		1	ì			1	3
育科目	教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)	1.2前		2		3	1				'			育 科 目	教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)	1.2前		2		3	1			1	ľ
	教科内容と教材開発(社会・地理歴史Ⅱ)	1.2後		2		3	1							н н	教科内容と教材開発(社会・地理歴史Ⅱ)	1.2後		2		3	1			1	
	教科内容と教材開発(社会・公民 I)	1.2前		2		1	2				,				教科内容と教材開発(社会・公民 I)	1.2前		2		1	2			1	1
	教科内容と教材開発(社会・公民Ⅱ)	1・2後		2		1	2				'				教科内容と教材開発(社会・公民Ⅱ)	1.2後		2		1	2			1	1
							2				l '									•				1	ľ
	教科の原理と授業づくり(英語) 教科内容と教材開発(テキストをスピーキン	1.2前		2		1	,								教科の原理と授業づくり(英語) 教科内容と教材開発(テキストをスピーキ	1.2前	1	2		1					
	グに活かす) 教科内容と教材開発(テキストをライティン	1.2約		2		2	2								ングに活かす) 教科内容と教材開発(テキストをライティ	1.2約	1	2		3	1				
	グに活かす)	1.2後		2		2	2								ングに活かす)	1.2後	l	2		3	1				
	教科内容と教材開発(英文法指導) Organizing your classroom talk and	1.2前		2		2	2								教科内容と教材開発(英文法指導) Organizing your classroom talk and	1.2前	l	2		3	1				
	assignments effectively	1.2後		2			1								assignments effectively	1.2後	l	2			1				
	教科の原理と授業づくり(小学校外国語)	1・2前		2		1									教科の原理と授業づくり(小学校外国語) ICTを含む授業実践(小学校外国語・英	1・2前	l	2		1					
	ICTを含む授業実践(小学校外国語・英語)	1通		2		2									語)	1通	1	2		2					
	教科内容と教材開発(小学校外国語)	1.2後		2		1					1				教科内容と教材開発(小学校外国語)	1.2後		2		1			1		1

	科目	授業科目の名称	配当	必必	単位数 選	X 自	教	任教	貝守	助助	迪助	兼任・		科目	授業科目の名称	配当	必	単位	
	区分	1又来14日の石山小	年 次	修修	択	п —	- 授	准 教 授	節	教	新	兼担		区分	10米14日の日刊	年次	修	捉	
		教科の原理と授業づくり(算数・数学)	1・2前		2		1	1							教科の原理と授業づくり(算数・数学)	1・2前		2	
		ICTを含む授業実践(算数・数学)	1·2後		2		4	2							ICTを含む授業実践(算数・数学)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(解析)	1・2前		2		1	1							教科内容と教材開発(解析)	1・2前		2	
		教科内容と教材開発(確率・統計)	1·2後		2		1	1							教科内容と教材開発(確率・統計)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(コンピュータ・応用数学)	1·2後		2		1	1							教科内容と教材開発(コンピュータ・応用 数学)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発 (代数)	1・2前		2		2								教科内容と教材開発(代数)	1-2前		2	
		教科内容と教材開発 (幾何)	1·2後		2			1				1			教科内容と教材開発(幾何)	1·2後		2	
		教科の原理と授業づくり(理科)	1・2前		2		5								教科の原理と授業づくり(理科)	1・2前		2	
		ICTを含む授業実践(理科)	1·2後		2		3	2				2			ICTを含む授業実践(理科)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(理科:物理分野)	1·2後		2		3					1			教科内容と教材開発(理科:物理分野)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(理科:化学分野)	1・2後		2		3								教科内容と教材開発(理科:化学分野)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(理科:生物分野)	1·2後		2		2	1				1			教科内容と教材開発(理科:生物分野)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(理科:地学分野)	1・2後		2		2	1				1			教科内容と教材開発(理科:地学分野)	1.2後		2	
		教科の原理と授業づくり(技術)	1・2前		2		1	2							教科の原理と授業づくり(技術)	1-2前		2	
		ICTを含む授業実践(技術)	1 · 2後		2		1	2							(未開講) ICTを含む授業実践(技術)	1.2後		2	
		教科内容と教材開発(技術:電気情報分野)	1・2前		2		1	1							教科内容と教材開発(技術:電気情報分	1.2前		2	
		教科内容と教材開発(技術:栽培分野)	1.2前		2		ľ	2							野)(未開講) 教科内容と教材開発(技術:栽培分野)	1・2前		2	
		教科の原理と授業づくり(家庭科)	1.2後		2		2	2				1			(未開講) 教科の原理と授業づくり(家庭科)	1.2後		2	
		ICTを含む授業実践(家庭科)			2		2	2				1			ICTを含む授業実践(家庭科)			2	
		教科内容と教材開発(生活デザイン領域)	1.2後				1					,			教科内容と教材開発(生活デザイン領域)	1.2後			
		教科内容と教材開発(生活科学基礎実験領	1.2前		2			2				2			(未開講) 教科内容と教材開発(生活科学基礎実験	1-2前		2	
	教科	域)	1.2前		2		1	1				2		教科	領域)(未開講)	1.2前		2	
	教育	教科内容と教材開発(健康生活領域)	1・2後		2		2	2					専門	教育	教科内容と教材開発(健康生活領域)	1.2後		2	
	科目	教科の原理と授業づくり(音楽)	1-2前		2		2	2					科目	科目	教科の原理と授業づくり(音楽)	1・2前		2	
		ICTを含む授業実践(音楽)	1・2前		2		2	2							ICTを含む授業実践(音楽)	1-2前		2	
		教科内容と教材開発(鑑賞・創作) 教科内容と教材開発	1・2後		2		2	2							教科内容と教材開発(鑑賞・創作) 教科内容と教材開発	1・2後		2	
		(表現領域・ピアノ)	1・2後		2		2	2							(表現領域・ピアノ)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発 (表現領域・声楽)	1・2前		2		2	2							教科内容と教材開発 (表現領域・声楽)	1-2前		2	
		教科の原理と授業づくり (図画工作・美術)	1・2前		2		2								教科の原理と授業づくり (図画工作・美術)(未開講)	1-2前		2	
		ICTを含む授業実践 (図画工作・美術)	1·2後		2		1	1							ICTを含む授業実践 (図画工作・美術)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発 <絵画分野・絵に表すー平面的な造形表現 >	1·2前		2		1	1							教科内容と教材開発 <絵画分野・絵に表すー平面的な造形表現>(未開講)	1・2前		2	
		教科内容と教材開発 <工芸分野・デザイン分野・工作に表す-用 途のある造形表現>	1・2前		2		1	1							教科内容と教材開発 <工芸分野・デザイン分野・工作に表すー 用途のある造形表現>	1・2前		2	
		教科内容と教材開発 <彫刻分野・立体に表す・造形遊び-立体 的な造形表現>	1·2後		2		1	1							教科内容と教材開発 <彫刻分野・立体に表す・造形遊び一立 体的な造形表現>	1·2後		2	
		教科の原理と授業づくり(書道)	1・2前		2							4			教科の原理と授業づくり(書道)	1・2前		2	
		ICTを含む授業実践(書道)	1·2後		2							3			ICTを含む授業実践(書道)	1·2後		2	
		教科内容と教材開発(漢字書法)	1・2前		2							3			教科内容と教材開発(漢字書法)	1・2前		2	
		教科内容と教材開発(書道史)	1・2後		2							3			教科内容と教材開発(書道史)	1・2後		2	
		教科内容と教材開発(書道作品鑑賞)	1・2前		2							4			教科内容と教材開発(書道作品鑑賞)	1・2前		2	
		教科の原理と授業づくり(保健体育)	1・2前		2		1	1							教科の原理と授業づくり(保健体育)	1・2前	l	2	
		ICTを含む授業実践(保健体育)	1.2後		2		2	4							ICTを含む授業実践(保健体育)	1.2後	l	2	
		教科内容と教材開発(運動領域)	1.2後		2		1	1							教科内容と教材開発(運動領域)	1.2後	l	2	
		教科内容と教材開発(体育理論領域)	1.2前		2		1	1							教科内容と教材開発(体育理論領域)	1.2前	l	2	
		教科内容と教材開発(保健領域)	1.2後		2		1	1							教科内容と教材開発(保健領域)	1.2後	l	2	
L		小計(67科目)	1 - 21友	0	134	0	33	25	0	0	0	30		<u> </u>	小計(67科目)	- 418	0	13	
		(1.81 (07行日)		۲	134	v	აა	23	U	٧	U	JU			3.則(0/行日)	ـــَـــ		27	

卒業要件及び履修方法

卒業要件及び履修方法

専任教員等の配置 教 准 講 助 助

 ⁻ 専攻共通科目(共通五領域):16単位以上選択必修(各領域2単位以上必修)
- 実践科目(実習科目):10単位以上選択必修
- 実践科目(演習科目):4単位以上選択必修
- 研究科目:12単位以上選択必修
- 専門科目:12単位以上選択必修
- 持46単位以上
※実践科目の実習科目について、「課題探求実習」5単位を必修とし、「課題解決実習A」5単位又は「課題解決実習B
(特別支援教育)5単位を選択必修とする。
※ 災職教員に関しては、実践科目におげる実習科目のうち「課題探求実習」を取得したものとみなす。
(億修科目の登録の上限:38単位(年間))

⁻ 専攻共通科目(共通五領域):16単位以上選択必修(各領域2単位以上必修)
- 実践科目(実習科目):10単位以上選択必修
- 実践科目(演習科目):4単位以上選択必修
- 実践科目(演習科目):4単位以上選択必修
- 専門科目:12単位以上選択必修
- 専門科目:12単位以上選択必修
- 持46単位以上
※実践科目の実習科目について、「課題探求実習」5単位を必修とし、「課題解決実習A」5単位又は「課題解決実習
以特別支援教育)」5単位を選択必修とする。
※現職教員に関いては、実践科目における実習科目のうち「課題探求実習」を免除できるものとする。
(履修科目の登録の上限:30単位(年間))

【令和4年度】

	科目		配当	_	单位数		_			の配		兼任
	区分	授業科目の名称	年次	必修	選択	血田	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
	び教 実育	ESD-SDGsの理論と実践	1前・後	139	2	ш	1	1	piji	7/	7	JE.
	施課 域に程 関の	教育課程の開発と改善	1後		2		1					
	す編る成	特別支援教育の教育課程論	1前		2		1	1				
	領及な教	指導と評価の一体化	1前		2			1				
	す得等 る方の	道徳教育の理論と実践	1前		2			ľ				1
	^限 法実 域に践	ユニバーサルな授業デザイン	1後		2			1				ľ
	関的 相生	生徒指導と子どもの心	1後		2		3	1				
専	談徒 に指 関導											
攻共	す及 るび	発達理論と教育実践	1前		2			1				
通科目	領教域育	発達障害児の理解と支援	1前		2		1		1			
	経学 営級 に経	学級経営の基礎・基本	1前		2			1				
	関営す及	学校組織とアカウンタビリティ	2前		2			1				
	るび 領学 域校	特別支援教育と学校・学級経営	1後		2		1					
	在学	教師の発達とキャリア教育	1前		2		1					
	り校 方教 に育・	学校危機管理論	1後		2							1
	域関と する員											'
	領の	インクルーシブ教育原論	1後		2							1
	1	小計(15科目)	-	0	30	0	7	7	1	0	0	3
		課題探求実習 課題解決実習A	1通	5	_		14	11	1			
	実習	課題解決実習B(特別支援教育)	2通		5		13	10				
	科目		2通		5		2	1	1			
		へき地学校実習	1・2前		2	_	2	5				
宔		小計(4科目)	-	5	12	0	14	11	1	0	0	0
実践科		遠隔教育実践演習	1後		2		3	1				
目		デジタル教材作成演習 学習の基盤カ向上のための	1前		2			1				
	演習	ICT活用演習	1前		2			1				_
	科目	STEAM教育演習 授業力応用演習	1後		2							5
		授業力基礎演習	1前		2			1				
		小計(6科目)	1前	0	12	0	4	3 4	0	0	0	5
		課題研究I	1前・後	2	12	_	51	31	1	-	_	•
研究	研究	課題研究Ⅱ	2前・後	2			51	31	1			
科目	科目	小計(2科目)	- 137 192	4	0	0	51	31	1	0	0	0
		カリキュラム・マネジメント実践論	1·2後	Ė	2	Ť	2	<u> </u>	Ė			Ť
		教師の成長と授業研究	1・2前		2		1					
		地域とつくる学校	1・2前		2		1					
		学級・学校づくりと特別活動	1·2後		2			1				
		学級経営実践論(未開講)	1・2前		2			1				
	*	学級集団づくりの実践分析研究	1·2後		2			1				
	校教	ESDと総合的な学習の時間特講	1·2後		2			2				
専門	校教育マネジメント科	ESDカリキュラムマネジメント	1・2前		2			1				
科目	ジメ、	ESDと地域創生	1·2後		2			1				
	ト科	SDGsフィールドワーク(未開講)	1・2前		2			1				
	Ē	ESDと郷土教育・総合学習	1·2前		2		1					
		学校教育の情報化特論	1・2前		2		2					
		教育のためのデータサイエンス	1·2後		2		1					
		体系的なプログラミング教育	1·2後		2		2					
		授業支援ツールを活用した授業設計	1・2前		2		2					
		小計(15科目)	-	0	30	0	8	6	0	0	0	0

l		1		í	单位数	枚	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任・共
				修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
		学校教育と心理学(未開講)	1・2前		2							1
		子どもの「学び」と心理学 (未開講)	1・2前		2							1
		教育と臨床	1・2前		2			1				
		子どもの発達の理解と支援	1·2後		2							2
		学校臨床の理論と実践	1・2前		2		1					
		学級集団と心理学	1・2前		2		1					
		教育支援と子どもの権利	1·2前		2							1
		学級集団のアクションリサーチ	1·2後		2		1					
		子どもの権利を踏まえた教育支援の実践 (未開講)	1·2後		2							1
		保育・幼児教育の内容論と実践の展開(未 開講)	1・2前		2							1
		幼小連携・接続の理論と実践の展開	1·2後		2		1					1
		幼年教育の理論と実践 (未開講)	1・2前		2		1					
	教	魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運営 (未開講)	1·2後		2		1					1
	育 発 達	幼年心理の理論と保育 (未開講)	1・2前		2			1				
	支援	幼児理解を深めるための実践研究 (未開講)	1·2後		2			1				
	科目	子ども家庭福祉の理論と実践 (未開講)	1・2前		2							1
		子育て支援の理論と実践(未開講)	1·2後		2							1
		保育・幼児教育の質の確保と向上 (未開講)	1・2前		2							1
		保育・幼児教育の質的研究	1・2前		2							1
		LD児・ADHD児の理解と支援	1·2後		2							1
		特別支援教育の生理・病理	1·2後		2		1					
		重度障害児の理解と支援	1・2前		2		1					
		特別支援教育アセスメント事例研究	1・2前		2		2	1	1			1
		特別支援教育コーディネーター論	1.2後		2		2	1	1			1
		特別支援教育のシステム論	1.2後		2		1	ľ	ľ			ľ
		特別支援教育の心理学	1.2前		2		ľ					1
専門		自閉症児の理解と支援	1.2後		2				1			ľ
科目		小計(27科目)	1 - 21友	0	54	0	4	2	1	0	0	11
		ESDとしての教育実践(言語・社会科学領	1・2前		2	·	-	_	_		U	6
		域)(未開講) ESDとしての教育実践(理数・生活科学領	1.2前		2			1				5
		域)(未開講) ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領	1・2前		2		1	ľ				4
		域) 教科の原理と授業づくり(国語)	1・2前		2		2	1				•
		ICTを含む授業実践(国語)	1.2後		2		2	1				
		教科内容と教材開発(古典文学) I	1・2前		2		1	1				1
		教科内容と教材開発(古典文学)Ⅱ	1.2後		2		1	1				
		教科内容と教材開発(近代文学) I	1・2前		2		2					
		教科内容と教材開発(近代文学)Ⅱ	1・2後		2		2					
		教科内容と教材開発(語彙・文法)	1・2前		2							1
		教科内容と教材開発(音声言語)	1・2後		2		1					1
	教 科 教	教科の原理と授業づくり(社会)	1・2前		2		3	1				2
	育科	ICTを含む授業実践(社会)	1·2後		2		1	2				2
	B	教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)	1・2前		2		3	1				
		教科内容と教材開発(社会・地理歴史 II) (未開講)	1·2後		2		3	1				
		教科内容と教材開発(社会・公民 I)	1・2前		2		1	2				1
		教科内容と教材開発(社会・公民Ⅱ) (未開講)	1·2後		2		1	2				1
		教科の原理と授業づくり(英語)	1・2前		2		1					
		教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす)(未開講)	1・2前		2		3	1				
		教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす)(未開講)	1·2後		2		3	1				
		教科内容と教材開発(英文法指導)	1・2前		2		3	1				
		Organizing your classroom talk and assignments effectively(未開講)	1·2後		2			1				
		教科の原理と授業づくり(小学校外国語)	1・2前		2		1					
		ICTを含む授業実践(小学校外国語・英語)	1通		2		2					
	l	教科内容と教材開発(小学校外国語)	1·2後	l	2		1					1

				Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	身
	科目 区分	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	任
				修	択	由	授	授	師	教	手	扎
		教科の原理と授業づくり(算数・数学)	1・2前		2		1	1				
		ICTを含む授業実践(算数・数学)	1·2後		2		4	2				
		教科内容と教材開発(解析)	1·2前		2		1	1				
		教科内容と教材開発(確率・統計)	1·2後		2		1	1				
		教科内容と教材開発(コンピュータ・応用数学)	1·2後		2		1	1				
		教科内容と教材開発(代数)	1·2前		2		2					
		教科内容と教材開発 (幾何)	1·2後		2			1				
		教科の原理と授業づくり(理科)	1·2前		2		5					
		ICTを含む授業実践(理科)	1·2後		2		3	2				
		教科内容と教材開発(理科:物理分野) (未開講)	1·2後		2		3					
		教科内容と教材開発(理科:化学分野)	1·2後		2		3					
		教科内容と教材開発(理科:生物分野)	1·2後		2		2	1				
		教科内容と教材開発(理科:地学分野)	1.2後		2		2	1				
		(未開講) 教科の原理と授業づくり(技術)	1・2前		2		1	2				
		(未開講)										
		ICTを含む授業実践(技術)(未開講) 教科内容と教材開発(技術:電気情報分野)	1.2後		2		1	2				
		(未開講) 教科内容と教材開発(技術:栽培分野)(未	1・2前		2		1	1				
		開講) 教科の原理と授業づくり(家庭科)	1・2前		2			2				
		(未開講)	1·2後		2		2	2				
		ICTを含む授業実践(家庭科)(未開講)	1·2後		2		2	2				
		教科内容と教材開発(生活デザイン領域) (未開講)	1·2前		2		1	2				
	教	教科内容と教材開発(生活科学基礎実験領域)(未開講)	1·2前		2		1	1				
卖	料教	教科内容と教材開発(健康生活領域) (未開講)	1·2後		2		2	2				
啊	育科	教科の原理と授業づくり(音楽)	1·2前		2		2	2				
∄	目	ICTを含む授業実践(音楽)	1·2前		2		2	2				
		教科内容と教材開発(鑑賞・創作)	1·2後		2		2	2				
		教科内容と教材開発 (表現領域・ピアノ)	1·2後		2		2	2				
		教科内容と教材開発 (表現領域・声楽)	1·2前		2		2	2				
		教科の原理と授業づくり (図画工作・美術)	1·2前		2		2					
		ICTを含む授業実践 (図画工作・美術)(未開講)	1·2後		2		1					
		教科内容と教材開発										
		<絵画分野・絵に表すー平面的な造形表現 >	1・2前		2		1					
		教科内容と教材開発 〈工芸分野・デザイン分野・工作に表す-用 途のある造形表現〉	1・2前		2		2					
		教科内容と教材開発 〈彫刻分野・立体に表す・造形遊び一立体 的な造形表現〉	1·2後		2		2					
		教科の原理と授業づくり(書道)	1・2前		2		1					
		ICTを含む授業実践(書道)	1·2後		2		1					I
		教科内容と教材開発(漢字書法)	1・2前		2		1					I
		教科内容と教材開発(書道史)	1·2後		2		1					
		教科内容と教材開発(書道作品鑑賞)	1·2前		2		1					
		教科の原理と授業づくり(保健体育)	1·2前		2		1	1				
		ICTを含む授業実践(保健体育)	1·2後		2		2	4				ĺ
		教科内容と教材開発(運動領域)	1.2後		2		1	1				ĺ
		教科内容と教材開発(体育理論領域)	1.2前		2		1	1				l
		教科内容と教材開発(保健領域)	1 · 2後		2		1	1				ĺ
		小計(67科目)	- 41友	0	134	0	34	21	0	0	0	t
				9		0			1	0	0	H
		合計(136科目)	- 及び履修7		272	U	51	34		U	U	L

[・]専攻共通科目(共通五領域):16単位以上選択必修(各領域2単位以上必修) ・実践科目(実習科目):10単位以上選択必修 ・実践科目(演習科目):4単位以上選択必修 ・研究科目:4単位必修 ・専門科目:12単位以上選択必修 ・専門科目:12単位以上選択必修 ・専門科目:10単位以上 ※実践科目の実習科目について、「課題探求実習」5単位を必修とし、「課題解決実習AJ5単位又は「課題解決実習B (特別支援教育)」5単位を選択必修とする。 ※実職教育」5単位を選択必修とする。 ※実職教育」5単位を選択必修とする。 (機修科目の登録の上限:39単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、各年度については、**区可時又は雇出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。

 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目 「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。 「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、
- (1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・現職院生が実習科目及び課題研究以外の科目を1年目に履修できるよう、履修科目の年間登録上限を38単位から39単位へ改正。 ・現職教員の実習免除についての記載を、より正確な表現に修正。

- 令和4年4月の専任教員の昇任による専任教員等の配置の変更 ① FESD-SDGsの理論と実践」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。 ②「教育のためのデータサイエンス」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ③「遠隔教育実践演習」「教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす)」「教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす)」「教科内容と 教材開発(英文法指導)」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授2」「企教授2」「准教授1」に変更。 ④「教科内容と教材開発〈工芸分野・デザイン分野・工作に表す-用途のある造形表現〉」「教科内容と教材開発〈彫刻分野・立体に表す・造形遊び一立体的な造形 表現〉」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授0」に変更。

- 設置計画からの専任教員の変更及び担当教員の変更による、専任教員等の配置の変更
 ①「ESDと終合的な学習の時間特講」の専任教員等の配置を「堆教授」から「准教授」に変更。
 ②「ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)」の専任教員等の配置を「准教授」「兼任・兼担5」から「准教授0」「兼任・兼担6」に変更。
 ③「ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担9」から「兼任・兼担1」に変更。
 ④「教料の原理と授業づくり(社会)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。
 ⑤「[127を古授業実践(社会)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」に変更。
 ⑥「[127を古授業実践(社会)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担1」に変更。
 ⑥「飲料内容と教材開発(生活デザイン領域)」「教科内容と教材開発(生活科学基礎実験領域)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担2」に変更。

- 計画時の専任教員が辞職し令和4年4月に兼任・兼担教員となったことによる専任教員等の配置の変更 ①「保育・幼児教育の内容論と実践の展開」の専任教員等の配置を「教授1」「兼任・兼担0」から「教授0」「兼任・兼担1」に変更。 ②「幼小連携・接続の理論と実践の展開」「魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運営」の専任教員等の配置を「教授2」「兼任・兼担0」から「教授1」「兼任・ 兼担1」に変更
- 本だけ、ためた。 ③「ICTを含む授業実践(図画工作・美術)」「教科内容と教材開発<絵画分野・絵に表すー平面的な造形表現>」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担 0」から「准教授0」「兼任・兼担1」に変更。
- 計画時の兼任・兼担教員が令和4年4月に専任教員となったことによる専任教員及び兼担・兼任教員の配置の変更 「授業力基礎演習」の専任教員等の配置を「教授0」「兼任・兼担1」から「教授1」「兼任・兼担0」に変更。
- 令和4年4月の専任教員の昇任及び設置計画からの専任教員の変更及び担当教員の変更による、専任教員及び兼担・兼任教員の配置の変更 ①「課題探求実習」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授13」から「教授14」「准教授11」に変更。 ②「課題解決実習A」の専任教員等の配置を「教授12」が「作教授12」が「教授13」「准教授10」に変更。 ③「課題研究I」「課題研究I」の専任教員等の配置を「教授41」「准教授36」から「教授51」「准教授31」に変更。

【令和5年度】

- 専任教員が辞職後に兼任・兼担教員に就任したことによる専任教員等の配置の変更 「ユニバーサルな授業デザイン」の専任教員等の配置を「准教授」」「兼任・兼担0」から「准教授0」「兼任・兼担1」に変更。

- 令和5年4月の専任教員の昇任による専任教員等の配置の変更 ①「発達理論と教育実践」の専任教員等の配置を「教授0」「准教授1」から「教授1」「准教授0」に変更。 ②「発達障害児の理解と支援」の専任教員等の配置を「推教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。 ③「自閉症児の理解と支援」の専任教員等の配置を「推教授0」「講師1」から「准教授1」「講師0」に変更。 ④「教科内容と教材開発(運動領域)」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授0」に変更。

- (4) 「教科内容と教材開発(運動領域)」の専任教員等の配置を「教授]」「准教授]」「准教授」「准教授」「「推教授」「に変更。

 ・専任教員の変更及び担当教員の変更による、専任教員等の配置を変更

 ② 「特別支援教育の教育課程論」の専任教員等の配置を「推教授」」がら「推教授」」に変更。

 ② 「学級経営の基礎・基本」「学校組織とアカウンタビリティ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
 ③ 「インクルーシブ教育原論」の専任教員等の配置を「推教授」「兼任・兼担」」がら「推教授」「兼任・兼担」」に変更。
 ④ 「課題訴決実習A」の専任教員等の配置を「推教授」「「兼任・兼担」」がら「推教授」「「兼任・兼担」」に変更。
 ⑤ 「遠陽教育実践演習」の専任教員等の配置を「推教授」」がら「准教授」「「東任・兼担」」に変更。
 ⑥ 「デジタル教材作成演習」「学習必基盤力向上のための」に7活用演習」の専任教員等の配置を「教授」「「変更。
 ② 「学砂島水の原理と実践の展開」「幼小連携・接続の理論と実践の展開」「魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運営」の専任教員等の配置を「推教授」「「非社・兼担」」がら「兼任・兼担」」に変更。
 ③ 「保育・幼児教育の内容論と実践の展開」「幼小連携・接続の理論と実践の展開」「魅力ある幼稚園・保育所・こども園等の運営」の専任教員等の配置を「推教授」「「推教授」「「兼任・兼担」」に変更。
 ④ 「野ひとしての教育実践(芸術・保健体育領域)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
 ⑥ 「野のとての教育実践(芸術・保健体育領域)」の専任教員等の配置を「兼任・兼担4」から「兼任・兼担3」に変更。
 ⑥ 「教科内容と教材開発(語彙・文法)」の専任教員等の配置を「書任・兼担」」の事任教員等の配置を「養任・兼担2」がら「講師1」「兼任・兼担0」に変更。
 ③ 「教科内容と教材開発(語彙・文法)」の専任教員等の配置を「養授」「「講師0」がら「教授0」「講師1」「兼任・兼担2」に変更。
 ⑥ 「初科内容と教材開発(任金・武力・の専任教員等の配置を「教授4」「兼任・兼担2」から「教授3」「兼任・兼担2」に変更。
 ⑥ 「初科内容と教材開発(任金・「対し3)の専任教員等の配置を「教授4」「兼任・兼担2」がら「教授3」「兼任・兼担2」に変更。
 ⑥ 「教科内容と教材開発(任金・デイン領域)」の専任教員等の配置を「教授4」「兼任・兼担2」から「教授3」「兼任・兼担4」に変更。

- に多文と。 第「記で含む授業実践(図画工作・美術)」「教科内容と教材開発<絵画分野・絵に表すー平面的な造形表現>」の専任教員等の配置を「准教授0」「兼任・ 兼担1」から「准教授1」「兼任・兼担0」に変更。 領「教科の原理と授業づくり(保健体育)」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担0」から「准教授0」「兼任・兼担1」に変更。 ②「教科内容と教材開発(保険領域)」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼任・兼担0」から「准教授0」「兼任・兼担1」に変更。

- 令和5年4月の専任教員の昇任及び専任教員の変更及び担当教員の変更による、専任教員等の配置の変更 ①「課題探求実習」の専任教員等の配置を「教授14」「准教授11」から「教授16」「准教授12」に変更。 ②「課題解決実習B(特別支援教育)」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」から「教授3」「講解1」から「教授3」「講解2」に変更。 ③「課題研究 I」「課題研究 II」の専任教員等の配置を「教授21」「推教授31」「講師1」から「教授52」「准教授30」「講師2」に変更。 ④「特別支援教育アセスメント事例研究」「特別支援教育コーディネーター論」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」「
- (5) 「107を含む授業実践(保健体育)」の専任数員等の配置を「数授2」「准数授4」「兼任・兼担0」から「数授3」「准数授1」「兼任・兼担1」に変更。
- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

		設置	時	の計画								変更	状	兄					備考
必修	::	選択		自日	Ħ	計()	۹)	ļ	必修		選	択		自由	3		計		洲 右
3	科目	133 科	目	0	科目	136	科目	3	科 0	目]	133 [0	科目]	0 0	科目	136	6 0	科目	

- (注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区	:	分				ı	内					容	1				備考
(1)		区 :	分		専	用		共	用			ŧ用する ዾ校等の				計		
	ŧ.	交舎敷	地				0 m²		87, 89	6 m²		12.3.5		m²		87	, 896 m ²	-
校	i	運動場用	地				0 m²		26, 53	7 m²			0	m [‡]		26	, 537 m ²	
地		小	計				0 m²		114, 43	3 m²			0	m [‡]		114	, 433 m ²	
等		その	他				0 m²		1, 617, 59	6 m ²			0	m [‡]		1, 617	, 596 m ²	
þ		合	計				0 m²		1, 732, 02	9 m²				m [‡]		1, 732	., 029 m ²	
					専	用		共	用			≒用する 学校等の				計		
(2) 校		舎					0 m²		27, 06	6 m ²			0	m [‡]		27	, 066 m ²	
					(0 m	ร์)	(27	7,066 m ²)		(0 m²)		(27	, 066	m [*])	
			Ē	黄	室		演習	室室	実験	実習	室	情報外	処理学習	習施設	語句	学学習	施設	_
(3) 教	室	等			28	3室		28室			38室			6室			0室	大学全体
										-		(補助		3人)		肋職員	0人)	
(4) 専	任教員研	究室					設学部等						室	0	数			専任教員増による増加(5)
			•		教	育学研	T究科 🤚	敗職開発 専	攻			ı	8 8	8 6			室	(0)
	¢c ≅.D. r	学部等		図	書		学術					視聴覚	前資料	機械・	• 器具	標	本	
(5)		名称	(?	うち外国	国書〕		〔うちタ		電子ジ									
						m		種	〔うち				点		点		点	-
			349	,603[4] , 057[4	7,578)		7,858(8,135(3,154)	2,259	(2,25)	9)		94	44	32 48		0	
		学研究科 発専攻		,087[48			8,103[,	[2,28	-		33		12			大学全体
図書	32,190171	170 (7.2	(349		7,578)		(7,858() (8,135(3,154])	(2,258 (2,259	(2,25	9])		94)	(44	32) 18)		(0)	教育研究環境の充実化 による更新(4)(5)
· 設			(350	,531 (4)	3,174])		(8,103[3,1753)	(2,281	£2,28)))	(88	53)	(4-1	12)			=
備				,603[4 ¹ , 057[4			7,858(8,135((2,25)		89 89	99 94		32 48		0	
	i	計	357	,087[48	3,890)		8,103[3,175)	2,281	[2,28	1)	86	33	41	12			
				,603[4 ⁻			(7,858((8,135((2,258 (2,259			(89 (89)			32) 18)		(0)	
					3,174])		(8,103[(2,281			(88			12)		(0)	
(6) 図	書	館		面	·	積			閲覧	座席	数		収	納	可 能		数	大学全体 ソファ設備を購入
(0/ 🗵		ÞП					3, 388	mî				381 373				3	56,222 ጠ	
(7) 体	育	館		面		積				体育	育館以外	外のスポ	ポーツ旅	・設の概	要			-大学全体
	,,						1, 028	m 屋	外	プ	_	ル	テ	= ;	ス =	-	- h	
	経費		区	分		開設	年度	完成年月	_		分	開設前	前年度	開設	年度	—完1		_
(8) 経費の	結し	J ——	1 人 当 (-		千円		_	書購刀			* #		千円		千円	_
積り及維持方	び	共	同研				千円	_		備購力			千円		千円		千円	-
	要 学生	1人当り 内付金	第	1年次			2年页		3年次		第4年		第	5年次	- m	第6:		-
			+401140	4# +± -	・井の畑	# 	1	円	千円	İ		千円			千円		千円	-
		子生納作	寸金以外の	維持万	法の概!													

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	奈良教育	大学								平均入学定員 超過率0.7倍以 下の学科数	0	平均入学定員 起過率1.15倍 以上の学科数	収容定員充足 車0.7倍以下の 学科数	0	収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地		備	考	
	年	人	年次	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度					
			人													
教育学部	4	255	-	1, 020	-	1. 04	-	1.09	1.06			-				
学校教育教員養成課	4	255	-	1, 020	学士	1. 04	-	1. 09	1.06	-	平成11	奈良県奈良市高畑町	r			
総合教育課程	4	-	-	_	学士	-	-	-	-	-	平成11	同上	平成24年度	入学生	より学生乳	集停止
大学全体	-	255	-	1, 020	-	-		-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等
 - (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 - なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 - (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の
 - 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 - なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)Ⅳ. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点<u>以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 また、<u>0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、**必ず太宇にしてください**。</u>
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 教職開発専攻>

(1)一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専行 兼担 兼行 の別	<u>!</u> •	名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
專		粕谷 貴志 <令和4年4月> 教育学修士 生徒指導と子どもの心※	Į	. 数	.授	粕谷 貴志 <令和4年4月> 教育学修士 生徒指導と子どもの心※		東	教捋	粕谷 貴志 < 令和4年4月> 教育学修士 生徒指導と子どもの心※
4	教授	正性相等とするものの深 課題探決実習 A 課題研究 I 課題研究 I		150		王使相等とすともの心然 課題探決実習A 課題研究 I 課題研究 I	_	7	**IX	正性相等とするのが 課題解決実習A 課題研究 I 課題研究 I
	** 15	河崎 智恵 <令和4年4月> 博士(教育学)			1-7	河崎 智恵 <令和4年4月> 博士(教育学)		_	* 10	河﨑 智恵 <令和4年4月> 博士(教育学)
専	教授	生徒指導と子どもの心※ 教師の発達とキャリア教育 課題探求実習 課題解決実習 A 課題研究 I 課題研究 I	I	教		生徒指導と子どもの心※ 教師の発達とキャリア教育 課題探求実習 課題研決実習 A 課題研究 I 課題研究 I		専	教授	生徒指導と子どもの心※ 教師の発達とキャリア教育 課題探求実習 課題研決実習 A 課題研究 I 課題研究 I
		中井 隆司 <令和4年4月> 教育学修士				中井 隆司 <令和4年4月> 教育学修士				中井 隆司 《令和4年4月》 教育学修士
専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A 教師の成長と授業研究 教科の原理と授業づくり(保健体育)※ 課題研究 I 課題研究 I		教	(授	課題探求実習 課題解決実習 A 教師の成長と授業研究 教科の原理と授業づくり(保健 体育)※ 課題研究 I 課題研究 I		専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A 教師の成長と授業研究 教科の原理と授業づくり(保健 体育)※ 課題研究 I 課題研究 I
専	准教授	北川 剛司 《令和4年4月> 修士(教育学)※ 指導と評価の一体化 課題探求実習 課題解決実実習 課題解決突実習 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I	Ę			北川 剛司 《令和4年4月》 修士(教育学)※ 指導と評価の一体化 課題探求実習 課題解決実実習 A 本等ので、1 課題研究 I 課題研究 I		専	准教 授	北川 剛司 《令和4年4月》 修士(教育学)※ 指導と評価の一体化 課題探求実習 A 中央で表演習 A 中央で表演 課題研究 I 課題研究 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
			*	准教授	林 喜子 《令和4年9月》 修士(教育学) 課題研究 I 課題研究 I	專	准教授	林 喜子
						專	講師	小林 昇光 《令和5年4月》 修士(教育学)※ 学級経営の基礎・基本 学校組織とアカウンタビリティ 課題探求実習 A 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	赤沢 早人 < 令和4年4月> 教育学修士 カリキュラム・マネジメント実践論 ※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	赤沢 早人 < 令和4年4月> 教育学修士 カリキュラム・マネジメント実践論※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	赤沢 早人 < 令和4年4月> 教育学修士 カリキュラム・マネジメント実践論※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	石井 俊行	専他	教授	石井 俊行 《令和4年4月》 博士(学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(理科) 教科内容と教材開発(理科:物理分野)※ 教科内容と教材開発(理科:化学分野)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	石井 俊行 《令和4年4月》 博士 (学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(理 科) 教科内容と教材開発(理科:物理分野)※ 教科内容と教材開発(理科:化学分野)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	石田 正樹 <令和4年4月> 博士 (学術) 教科の原理と授業づくり (理科) ※ 教科内容と教材開発 (理科:生物分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	石田 正樹 <令和4年4月> 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:生物分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	石田 正樹 <令和4年4月> 博士 (学術) 教科の原理と授業づくり (理科)※ 教科内容と教材開発 (理科:生物分野) 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	板橋 孝幸 <令和4年4月> 博士 (教育学) ESDと郷土教育・総合学習 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	板橋 孝幸 <令和4年4月> 博士 (教育学) ESDと郷土教育・総合学習 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	板橋 孝幸 <令和4年4月> 博士(教育学) ESDと郷土教育・総合学習 課題研究 I 課題研究 I

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・ ・		氏 名
兼担・ 兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>	兼担・ 兼任 の別	職名	<就任(予定)年月>
נימ כט		保有学位等	נימ כט		保有学位等	U) Aij	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		市来 百合子			市来 百合子			市来 百合子
		<令和4年4月> 博士(人間文化学)			<令和4年4月> 博士(人間文化学)			<令和4年4月> 博士(人間文化学)
専他	教授	生徒指導と子どもの心※ 学校臨床の理論と実践 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	生徒指導と子どもの心※ 学校臨床の理論と実践 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	生徒指導と子どもの心※ 学校臨床の理論と実践 課題研究 I 課題研究 I
		伊藤 剛和			伊藤 剛和			伊藤 剛和
		<令和4年4月> 教育学修士			<令和4年4月> 教育学修士			<令和4年4月> 教育学修士
専他	教授	遠隔教育実践演習 学校教育の情報化特論 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業設計 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	遠隔教育実践演習 学校教育の情報化特論 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業 設計 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	遠隔教育実践演習 デジタル教材作成演習 学修の基盤力向上のためのICT 活用演習 学校教育の情報化特論 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業 設計 課題研究 I 課題研究 I
		伊藤 直治			伊藤 直治			伊藤 直治
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専他	教授	ICTを含む授業実践(算数・数学) ※ 教科内容と教材開発(コンピュー タ・応用数学)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(コン ピュータ・応用数学)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(コン ピュータ・応用数学)※ 課題研究 I 課題研究 I
		宇田 秀士			宇田 秀士			宇田 秀士
専他	教授	〈令和4年4月〉 教育学修士 課題探求実習 教科の原理と授業づくり(図画工作・美術)※ 教科内容と教材開発〈絵画分野・絵 に表すー平面的な造形表現〉※ 教科内容と教材開発〈工芸分野・デ ザイン分野・工作に表すー用途のあ る造形表現〉※ 教科内容と教材開発〈彫刻分野・立 体に表す。造形遊び一立体的な造形 表現研究 I 課題研究 I	専他	教授	〈令和4年4月〉 教育学修士 課題探求実習 教和の原理と授業づくり(図画工作・美容と教材開発と表面分野・総に表す一平面的な造形表現 >※ 教科内容と教が開発くに表す一 科内内デザるン分表現名とであると教が野・近に表すー 用殺科内容と数が野・光にに表すー 用殺科内容と表現 が野・立体に表す〉 のあると教が・造形遊び一立体的な造形表現 等では表現 等では、一位の表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 のの表と表現 が関係では、一位の表現 が関係では、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の表現 ののでは、一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一	専他	教授	〈令和4年4月〉 教育学修士 課題探求実習 A 教和の原術の教材開発〈絵画分野・絵画分野・絵画を表す一平面的な造形表現〉※ 教和内容と教材開発〈工芸分野・途のある後科が野・光でに表す一用途のある造形表現〉※ 別野・立体に表す〉※ が野・立体に表す〉※ 課題研究 I 課題研究 I
		笠次 良爾			笠次 良爾			笠次 良爾
		<令和4年4月>			<令和4年4月>			<令和4年4月>
専他	教授	学士 (医学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(運動領域)※ 教科内容と教材開発(保健領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	学士 (医学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発 (運動領域)※ 教科内容と教材開発 (保健領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	学士 (医学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発 (運動領域)※ 域)※ 域)※ 課題研究 I 課題研究 I
					域)※ 課題研究 I			域)※ 課題研究 I

専任・			ſ	専任・			専	任・		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	兼兼	担・	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				 担当授業科目名				 担当授業科目名
		梶原 篤	ŀ			根原 篤				棋原 篤
		<令和4年4月> 理学博士				<令和4年4月> 理学博士				<令和4年4月> 理学博士
専他	教授	教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:化学分 野) 課題研究 I 課題研究 I		専他	教授	教科の原理と授業づくり(理 科)※ 教科内容と教材開発(理科:化 学分野) 課題研究 I 課題研究 I	Ę	∮他	教授	教科の原理と授業づくり(理 科)※ 教科内容と教材開発(理科:化 学分野) 課題研究 I 課題研究 I
		片岡 弘勝	Ì			片岡 弘勝				片岡 弘勝
専他	教授	<令和4年4月> 教育学修士※		専他	教授	<令和4年4月> 教育学修士※	Ē	 季他	教授	<令和4年4月> 教育学修士※
		地域とつくる学校 課題研究 I 課題研究 I				地域とつくる学校 課題研究 I 課題研究 I				地域とつくる学校 課題研究 I 課題研究 I
		門田守	İ			門田守				門田守
		<令和4年4月> 文学修士				<令和4年4月> 文学修士				<令和4年4月> 文学修士
専他	教授	教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす) 教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす) 教科内容と教材開発(英文法指導) ※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ		専他	教授	教科内容と教材開発(テキスト をスピーキングに活かす) 教科内容と教材開発(テキスト をライティングに活かす) 教内容と教材開発(英文法指 導)※ 課題研究 I 課題研究 I	Ī	享他	教授	教科内容と教材開発(テキスト をスピーキングに活かす) 教科内容と教材開発(テキスト をライティングに活かす) 教科内容と教材開発(英文法指 導)※ 課題研究 I 課題研究 I
		川崎謙一郎	l			川崎 謙一郎				川崎 謙一郎
		<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)
専他	教授	ICTを含む授業実践(算数・数学) ※ 教科内容と教材開発(代数)※ 課題研究 I 課題研究 I		専他	教授	ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(代数)※ 課題研究 I 課題研究 I	W.	享他	教授	ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(代数)※ 課題研究 I 課題研究 I
		越野 和之	Î			越野 和之				越野 和之
		<令和4年4月> 文学修士※				<令和4年4月> 文学修士※				<令和4年4月> 文学修士※
専他	教授	特別支援教育の教育課程論※ 特別支援教育と学校・学級経営 課題探求実習B(特別支援教育) 重度障害児の理解と支援 特別支援教育アセスメント事例研究 ※ 特別支援教育コーディネーター論※ 特別支援教育のシステム論 課題研究 I 課題研究 I		専他	教授	特別支援教育の教育課程論※ 特別支援教育と学校・学級経営 課題撰求実習B(特別支援教育) 重度障害児の理解と支援 特別支援教育アセスメント事例 研究※援教育コーディネーター 論※ 特別支援教育のシステム論 課題研究 I	草		教授 研科 完	特別支援教育の教育課程論 課題探求実習 B (特別支援教育) 育別支援教育アセスメント事例 研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※ 特別支援教育のシステム論 課題研究 I 課題研究 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専他	教授	今 正秀 <令和4年4月> 文学修士※ 教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史I)※ 教科内容と 教科内容と 教科内容と 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	今 正秀 <令和4年4月> 文学修士※ 教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史 II)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	今 正秀 <令和4年4月> 文学修士※ 教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史 II)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	近藤 裕 《令和4年4月》 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(算数・数学)※ ICTを含む授業実践(算数・数学) ※ 教科内容と教材開発(解析)※ 教科内容と教材開発(代数)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	近藤 裕 《令和4年4月》 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(算数・数学)※ ICTを含む授業実践(算数・数学) 教科内容と教材開発(解析)※ 教科内容と教材開発(代数)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	近藤 裕 《令和4年4月》 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(算数・数学)※ ICTを含む授業実践(算数・数学) 教科内容と教材開発(解析)※ 教科内容と教材開発(代数)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	佐藤 臨太郎 《令和4年4月》 博士(学校教育学) 課題探求実習 展開決実実習 A 教科内際と教材開発(テキストをスピーキングに活かす)※ 教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かず)※ 文法指導)※ ICTを含む授業実践(小学校外国語・題研究 I 票題研究 I 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	佐藤 臨太郎 《令和4年4月》 博士 (学校教育学) 課題探求実習 展報 できる できる できます できます できます できます できます できます できます できます	専他	教授	佐藤 臨太郎 《令和4年4月》 博士(学校教育学) 課題探求実習 A 教語) 教科の原理と授業づくり(英語) 教科内容と教材開発(テキストを入げった。と教材開発(テキストを利内容と教材開発(テキングを対対内容と教材開発(英文法指導)※ 1CTを含語・英語)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	杉山 薫 《令和4年4月》 博士 (農学) 教科の原理と授業づくり (家庭科) ※ ICTを含む授業実践 (家庭科) ※ 教科内容と教材開発 (生活科学基礎実験領域) ※ 教科内容と教材開発 (健康生活領域) ※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	杉山 薫 〈令和4年4月〉 博士 (農学) 教科の原理と授業づくり (家庭 科) ※ ICTを含む授業実践 (家庭科) ※ 教科内容と教材開発 (生活科学 基礎実験領域) ※ 教科内容と教材開発 (健康生活領域) ※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	杉山 薫 〈令和4年4月〉 博士 (農学) 教科の原理と授業づくり (家庭 科) ※ ICTを含む授業実践 (家庭科) ※ 教科内容と教材開発 (生活科学 基礎実験領域) ※ 教科内容と教材開発 (健康生活領域) ※ 課題研究 I 課題研究 I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任 兼担 ・ の別	∄ • E	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専他	教授	全 有耳 《令和4年4月》 博士 (医学) 発達障害児の理解と支援※ 特別支援教育の生理・病理 特別支援教育アセスメント事例研究 ※ 特別支援教育コーディネーター論※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	全 有耳 〈令和4年4月〉 博士 (医学) 発達障害児の理解と支援※ 特別支援教育の生理・病理 特別支援教育アセスメント事例 研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※ 課題研究 I 課題研究 I	専	他	教授	全 有耳 〈令和4年4月〉 博士 (医学) 発達障害児の理解と支援※ 特別支援教育の生理・病理 特別支援教育アセスメント事例 研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	高橋 豪仁 《令和4年4月》 修士(教育学)※ ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(体育理論領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	高橋 豪仁 《令和4年4月》 修士(教育学)※ ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(体育理論領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専	他		高橋 豪仁 《令和4年4月》 修士(教育学)※ ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(体育理論領域)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	竹内 晋平 《令和4年4月》 博士 (美術) 教科の原理と授業づくり (図画工作・美術) ※ ICTを含む授業実践 (図画工作・美術) ※ 課題研究 I 誤題研究 I ESDとしての教育実践 (芸術・保健体育領域) ※	専他	教授	竹内 晋平 (〈令和4年4月〉 博士 (美術)) 教科の原理と授業づくり(図画 工作・美術)※ ICTを含む授業実践(図画工作・ 美術)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ ESDとしての教育実践(芸術・保 健体育領域)※	専	他	教授	竹内 晋平 《令和4年4月》 博士 (美術) 教科の原理と授業づくり(図画工作・美術)※ ICTを含む授業実践(図画工作・美術)※ 課題研究 I 課題研究 I ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※
専他	教授	立松 麻衣子 《令和4年4月》 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(家庭科) ※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(健康生活領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	立松 麻衣子 《令和4年4月》 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(家庭科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(健康生活領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専	他	教授	立松 麻衣子 《令和4年4月》 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(家庭科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(健康生活領域)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ

専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別		氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専他	教授	棚橋 尚子 《令和4年4月》 教育学修士 課題探求実習 課題解決実習A 教科内際理と授業づくり(国語)※ ICTを含む授業実践(国語) 教科内容と教材開発(古典文学)I ※ 教科内容と教材開発(古典文学)I ※ 教科内容と教材開発(近代文学)I ※ 教科内容と教材開発(近代文学)I ※ 教科内容と教材開発(近代文学)I ※ 教科内容と教材開発(近代文学)I ※ 教科内容と教材開発(近代文学)I ※ 課題研究I 課題研究I	専他	教授	棚橋 尚子 《令和4年4月〉 教育学修士 課題探求字響A 教科の学と授業実践(国語)※ ICTを含む授業実践(国語)教科内容 と教材開発(古典文学)I、※ 教科内容と教材開発(近代文学)I、※ 教科内容と教材開発(近代文学)I、※ 教科内容と教材開発(近代文学)I、※ 教科内容と教材開発(近代文学)I、※ 教科内容と教材開発(近代文学)I、※ 教科内容と教材開発(近代文学)科内容と教材開発(近代文学)I、※ 教科内容と教材開発(音声言語題研究I 課題研究I	専他	教授	棚橋 尚子 《令和4年4月〉 教育学修士 課題探求実習 A 教科の課と授業づくり(国語)※ ICTを含む授業実践(国語)教科内容と教材開発(古典文学)I※ 教科内容と教材開発(近代文学)I※ 教科内容と教材開発(近代文学)I※ 課題研究I 課題研究I 課題研究I
専他	教授	辻野 亮 <令和4年4月> 博士 (理学) 教科内容と教材開発 (理科:生物分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	辻野 亮 <令和4年4月> 博士 (理学) 教科内容と教材開発 (理科:生物分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	辻野 亮 <令和4年4月> 博士 (理学) 教科内容と教材開発 (理科:生物分野) 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	常田 琢 < 令和4年4月 > 博士 (工学) 1CTを含む授業実践 (理科) ※ 教科内容と教材開発 (理科:物理分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	常田 琢 <令和4年4月> 博士(工学) ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:物理分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	常田 琢 < 令和4年4月 > 博士 (工学) ICTを含む授業実践 (理科) ※ 教科内容と教材開発 (理科:物理分野) 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	出口 拓彦 《令和4年4月》 博士 (心理学) 学級集団と心理学 学級集団のアクションリサーチ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	出口 拓彦 《令和4年4月》 博士(心理学) 学級集団と心理学 学級集団のアクションリサーチ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	出口 拓彦 〈令和4年4月〉 博士(心理学) 学級集団と心理学 学級集団のアクションリサーチ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	中村 元彦 《令和4年4月》 博士 (理学) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:物理分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	中村 元彦 〈令和4年4月〉 博士(理学) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:物理分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	中村 元彦 〈令和4年4月〉 博士(理学) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:物理分野) 課題研究 I 課題研究 I

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		西田 慎 <令和4年4月> Dr.phil.哲学博士(政治学) (ハンブルグ大学)ドイツ			西田 慎 <令和4年4月> Dr.phil.哲学博士(政治学) (ハンブルグ大学)ドイツ			西田 慎 <令和4年4月> Dr.phil.哲学博士(政治学) (ハンブルグ大学)ドイツ
専他	教授	教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史 I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史 II)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史I)※ 課題研究I 課題研究I	専他	教授	教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴史 I)※ 課題研究 I 課題研究 I
		根田 克彦			根田 克彦			根田 克彦
専他	教授	《令和4年4月》 博士(理学) ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史 I)※ 教 I N ※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	< 令和4年4月> 博士 (理学) ICTを含む授業実践(社会) ※ 教科内容と教材開発(社会・地 理歴史 I) ※ 理歴史 I) ※ 理歴史 I) ※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	<令和4年4月> 博士(理学) ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・地 理歴史 I)※ 報理を取取と教材開発(社会・地 理歴史 I)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	日高 佳紀 《令和4年4月》 博士(文学) 教科の原理と授業づくり(国語)※ ICTを含む授業実践(国語)※ 教科内容と教材開発(近代文学) I 教科内容と教材開発(近代文学) I 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	日高 佳紀 〈令和4年4月〉 博士(文学) 教科の原理と授業づくり(国語)※ ICTを含む授業実践(国語)※ 教科内容と教材開発(近代文学)I 課題研究I 課題研究I 課題研究I			
専他	教授	廣瀬 聡弥 《令和4年4月》 博士 (人間科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼生教育の理論と実践の展開 勢力ある幼稚園・保育所・こども園 等の運営 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	廣瀬 聡弥 《令和4年4月》 博士(人間科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 幼小連携・接続の理論と実践の 展開 幼年教育の理論と実践 魅力あるの運営 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	廣瀬 聡弥 《令和4年4月》 博士 (人間科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 幼小連携・接続の理論と実践の 展開 幼年教育の理論と実践 魅力あるの運営 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I
専他	教授	藤井 智康 《令和4年4月》 博士(理学) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地学分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	藤井 智康 《令和4年4月》 博士(理学) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地学分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	藤井 智康 《令和4年4月》 博士(理学) 教科の原理と授業づくり(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地学分野) 課題研究 I 課題研究 I

兼担・ 氏名 「兼担・」 氏名 無担・」 無担・」 無担・」 「兼担・」 「未担・」 「未任」 「未任」 「未任」 「未任」 「未任」 「未任」 「未任」 「未任」 「未任」 「本任」 「本任」 「本日」	#担	専任・			1 [専任・			専任 ·		
現在 現在 現在 現在 現在 現在 現在 現在	お名 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	兼担•				兼担・			兼担・		
古田 七宏	古田 甘宏	の別	職名				職名			職名	
今年44年4月	本語			担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
特性 (20年学) 特別 (20年学) 特別 (20年学) 特別 (20年学) 特別 (20年学) 特別 (20年) 特別	特上 ((28年) 特別			古田 壮宏				古田 壮宏			古田 壮宏
	学校教育の信任和任籍 学校教育の信任任籍 学校教育の信任任籍 学校教育の信任任籍 学校教育の信任任第 学校教育の信任任籍 学校教育の第一世 学校教育										
本他 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の	本他 本の 本の 本の 本の 本の 本の 本の	専他	教授	学校教育の情報化特論 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業設計 課題研究 I		専他	教授	学校教育の情報化特論 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業 設計 課題研究 I	専他	教授	デジタル教材作成演習 学修の基盤力向上のためのICT 活用演習 学校教育の情報化特論 体系的なプログラミング教育 授業支援ツールを活用した授業 設計
博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学)	博士(工学)			薮 哲郎				薮 哲郎			薮 哲郎
専他 教授 IOTを含む投棄来渡域(技術)※ 報分野) 議題研究 I 専他 教授 南・他 教授 事件 教授 事件 教授 財際 (IOTを含む投棄来渡域(技術)※ 教科内容と教材開発(技術)等 (技術)等 (国際研究 I 事件 教授 山崎 祥子 < 令和4年4月> 理学博士 山崎 祥子 < 令和4年4月> 理学博士 本 本 本 教授 IOTを含む投棄来渡 (理科)※ 教科内容と教材開発(理科)※ 教科内容と教材開発(理科)・化 学問等 (国籍研究 I 事他 教授 IOTを含む投棄来渡 (理科)※ 参科内容と教材開発(理科)・化 学問等 等別の課題 ・ 中心 教授 (国本)・財産等の理解 ・ 中心 教授 (国際の理と規定)・財産等の財産と実施の の 中心 ・ 中心 教授 (国際の理と規定)・財産等の財産と表材 ・ 中心 教授 (国際の理と教育)・ ・ 教授 (国際の理と教育)・ ・ 教授 (日本)・ ・ 教授 (日本)・ ・ 教科内容と教材開発(表現領域・上 ・ 大人文科学) ・ 理解研究 I 期期 ・ 本の ・ 中心 教授 (国家)・ ・ 教授 (国家)・ ・ 教授 (国家)・ ・ 教授 (国家)・ ・ 教授 (国家)・ ・ 教科内容と教材開発(表現領域・上 ・ 大人文科学)を教制解発(表現領域・上 ・ 大人文科学)・ ・ 理解研究 I 事他 教授 (日本)・ 教授 (国家)・ 教授 (国家)・ ・ 教科内容と教材開発(表現領域・上 ・ 方人内容と教材開発(表現領域・上 ・ 方人内容と教材開発(表現領域・上 ・ 方人内容と教材開発(表現領域・上 ・ 方人内容と教材開発(表現領域・上 ・ 方人内容と教材開発(表現領域・上 ・ 野島研究 I 事他 教授 (日本)・ 教授 (教科内容と教材開発(表現領域・上 ・ 野島研究 I	専他 教授 IOTを含む授業業践(技術)※ 報行的学。 報行的学。 IOTを含む授業業践(技術)※ 教材内容と教材開発(技術)常 教授 要性 専他 教授 南他 教授 製工 (日本会社授業業践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術)常 (教授) (IOTを含む授業業践(理科)※ 会和4年4月> 理学博士 本地 理学博士 山崎 祥子 《令和4年4月> 理学博士 本地 理学博士 本地 要性 本地 教授 (IOTを含む授業業践(理科)※ 会和4年4月> 理学博士(大文科学) 本地 要性 教授 教授 (IOTを含む授業業践(理科)※ 会和4年4月> 理知研究 II 本地 教授 (IOTを含む授業業践(理科)※ 会和4年4月> 理知研究 II 本地 要性 本地 教授 (IOTを含む授業業践(理科)※ 会和4年4月> (国籍研究 II 本地 要性 教授 (国科) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (国本) (
零他 教授	専他 教授 ICTを含む授業実践 (理科) ※ 教科内容と教材開発 (理科: 化学分野) 課題研究 I	専他	教授	ICTを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術:電気情報分野) 課題研究 I		専他	教授	術)※ ICTを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術:電 気情報分野) 課題研究 I	専他	教授	術)※ ICTを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術:電 気情報分野) 課題研究 I
要他 教授 教授	理学博士 現学博士 現学博士 理学博士 数授 限期研究 I 理学博士 数授 表科内容と数材開免 (理科) ※ 数科内容と数材開免 (理科) ※ 数报内容と数材開免 (理科) ※ 数据 理学博士 表			山崎 祥子				山崎 祥子			山崎 祥子
数科内容と数材開発(理科:化学分野) 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 財力 A 公和4年4月〉 博士(人文科学) 優育 幼児教育の内容論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の 展開 幼小の理と授業づくり(音楽)※ 課題研究主要	数科内容と数材開発(理科:化学分野) 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 財力 る 3 如										
専他 教授 博士 (人文科学) 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 動力ある幼稚園・保育所・こども国際語の究 I 課題研究 I 製 麟玉 〈令和4年4月〉 博士 (人文科学) 展題研究 I 課題研究 I 製 麟玉 〈令和4年4月〉 博士 (人文科学) 課題探求実習 藤胆療次実習 A 教科の原理と授業づくり(音楽) に「こを含む授業実践(音楽)※ 教科の際理と授業づくり(音楽) に「こを含む授業実践(音楽)※ 教科の容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・開発)※ 課題研究 I	専他 教授 博士 (人文科学) 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 熱力ある幼稚園・保育所・こども園 講題研究 I 課題研究 I 課題研究 I 課題解決実習 A 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・運搬)※ 課題研究 I	専他	教授	教科内容と教材開発(理科:化学分野) 課題研究 I		専他	教授	教科内容と教材開発(理科:化 学分野) 課題研究 I	専他	教授	教科内容と教材開発(理科:化 学分野) 課題研究 I
博士 (人文科学) 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 動力ある幼稚園・保育所・こども園 等の運営 課題研究 I 劉 麟玉 〈令和4年4月〉 博士 (人文科学) 課題探求東習 課題解決実習 A 教料内容と教材開発(養現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デ楽)※ 課題研究 I 専他 「博士 (人文科学) 課題探求東習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(音楽)※ 記[できるむ授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアル) 教科内容と教材開発(表現領域・デアル) 教科内容と教材開発(表現領域・デアル) 教科内容と教材開発(表現領域・デアル) 第一部・デアル) 第一語・デアル) 第一語	博士 (人文科学) 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 対力ある幼稚園・保育所・こども園 等の運営 課題研究 I 劉 麟玉 〈令和4年4月〉 博士 (人文科学) 課題探求東習 課題解決実習 A 教料内際と教材開発(養現領域・ビアノ)※ 教料内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教料内容と教材開発(表現領域・デ楽)※ 課題研究 I 専他 「博士 (人文科学) 「正を含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デアル) ・デアル・デアル・デアル・デアル・デアル・デアル・デアル・デアル・デアル・デアル			横山 真貴子				横山 真貴子			
マ令和4年4月〉 博士 (人文科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり (音楽) ※ ICTを含む授業実践 (音楽) ※ 教科内容と教材開発 (鑑賞・創作) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・ピアノ) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・アーデ楽) ※ 課題研究 I	マ令和4年4月〉 博士 (人文科学) 課題探求実習 課題解決実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり (音楽) ※ ICTを含む授業実践 (音楽) ※ 教科内容と教材開発 (鑑賞・創作) ※ 教科内容と教材開発 (鑑賞・創作) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・ピアノ) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・アーデ楽) ※ 課題研究 I	専他	教授	博士(人文科学) 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 魅力ある幼稚園・保育所・こども園 等の運営 課題研究 I		兼任	講師	博士(人文科学) 保育・幼児教育の内容論と実践 の展開 幼小連携・接続の理論と実践の 展開 魅力ある幼稚園・保育所・こど			
博士 (人文科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり (音楽) ※ ICIを含む授業実践 (音楽) ※ 教科内容と教材開発 (鑑賞・創作) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・世アノ) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・声楽) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・ピアノ) ※ 教科内容と教材開発 (表現領域・アラ楽) ※ 課題研究 I	博士 (人文科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICIを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・世アノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 課題研究 I 課題研究 I 専他 博士 (人文科学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(音楽)※ 教科の原理と授業づくり(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デー案)※ 課題研究 I			劉麟玉				劉麟玉			劉麟玉
専他 教授 課題探求実習 課題解決実習 課題解決実習 機類解決実習 機動解決実習 機動解決実習 機動解決実習 人物科の原理と授業づくり(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・デー薬)※ 課題研究 I	専他 教授 課題探求実習 課題解決実習 課題解決実習 機類解決実習 機動解決実習 機動解決実習 機動解決実習 人物科の原理と授業づくり(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・世アノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 課題研究 I										
		専他	教授	課題探求実習 課題探求実習 A 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 課題研究 I		専他	教授	課題探求実習 課題探求実習 A 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ ピアノ)※ 新典の容と教材開発(表現領域・ 東東)※ 課題研究 I	専他	教授	課題探求実習 課題探求実習 A 教科の原理と授業づくり(音 楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創 作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ 声楽)※ 課題研究 I
					ı l						

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 ・ の別	職名	<就任(予定)年月> <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		和田 穣隆			和田 穣隆			和田 穣隆
		<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専他	教授	ICTを含む授業実践(理科) ※ 教科内容と教材開発(理科:地学分 野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地 学分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地 学分野) 課題研究 I 課題研究 I
		渡邉 伸一			渡邉 伸一			渡邉 伸一
		<令和4年4月> 社会学修士			<令和4年4月> 社会学修士			<令和4年4月> 社会学修士
専他	教授	教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民 I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民 II)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公 民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公 民I)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公 民工)※ 課題研究 I 課題研究 I
					董 のり子			萱 のり子
			専他	教授	〈令和4年4月〉 博士(文学)※ 教科の原理と授業づくり(書 道)※ 教科内容と教材開発(遵宇書 法)※ 教科内容と教材開発(書道作品 鑑賞)※ 教科内容と教材開発(書道史) ※ ICTを含む授業実践(書道)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	専他	教授	〈令和4年4月〉 博士 (文学) ※ 教科の原理と授業づくり(書 道) ※ 教科内容と教材開発(漢字書 法) ※ 教科内容と教材開発(書道作品 鑑賞) ※ 数科内容と教材開発(書道史) ※ ICTを含む授業実践(書道) ※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	7ムンルト* トーマス マーティン	専他	准教授	マルルド・トマスマーティン	専他	准教授	マルルド・トマスマーティン
専他	准教 授	有馬 義貴 《令和4年4月》 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(国語)※ 1CTを含む授業実践(国語)※ 教科内容と教材開発(古典文学)I ※ 教科内容と教材開発(古典文学)I 課題研究I 課題研究I	専他	准教授	有馬 義貴 《令和4年4月》 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(国語)※ ICTを含む授業実践(国語)※ 教科内容と教材開発(古典文学)I※ 教科内容と教材開発(古典文学)I 課題研究I 課題研究I	専他	准教授	有馬 義貴 《令和4年4月》 博士(学術) 教科の原理と授業づくり(国語)※ ICTを含む授業実践(国語)※ 教科内容と教材開発(古典文学)I※ 教科内容と教材開発(古典文学)I 課題研究I 課題研究I

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専他	准教 授	石井 僚 《令和4年4月》 博士(心理学) 生徒指導と子どもの心※ 教育と臨床 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	石井 僚 《令和4年4月》 博士(心理学) 生徒指導と子どもの心※ 教育と臨床 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	石井 僚 《令和4年4月》 博士(心理学) 生徒指導と子どもの心※ 教育と臨床 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	井上 邦子 《令和4年4月》 博士(体育科学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(体育理論領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	井上 邦子 《令和4年4月》 博士(体育科学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(体育理論 領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	井上 邦子 《令和4年4月》 博士 (体育科学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発 (体育理論 領域)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	太田 満 《令和4年4月》 博士(学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(社会)※ ICTを含む授業実践(社会)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	太田 満 《令和4年4月》 博士(学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(社会)※ [ICTを含む授業実践(社会)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	太田 満 <令和4年4月> 博士(学校教育学)
専他	准教授	大西 賢治 《令和4年4月》 博士(人間科学) 幼年心理の理論と保育 幼児理解を深めるための実践研究 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	大西 賢治 《令和4年4月》 博士(人間科学) 幼年心理の理論と保育 幼児理解を深めるための実践研究 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	大西 賢治 〈令和4年4月〉 博士 (人間科学) 幼年心理の理論と保育 幼児理解を深めるための実践研究 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	奥田 喜道 《令和4年4月》 修士(法学)※ ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民 I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民 I)※ 薬料内容と教材開発(社会・公民 II)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	奥田 喜道 《令和4年4月》 修士(法学)※ ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	奥田 喜道 《令和4年4月》 修士(法学)※ ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	梶尾 悠史 《令和4年4月》 博士 (文学) 教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民 I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民 I)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	梶尾 悠史 <令和4年4月> 博士 (文学) 教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 課題研究I 課題研究I	専他	准教授	梶尾 悠史 〈令和4年4月〉 博士 (文学) 教科の原理と授業づくり(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民I)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ

1-				+ -		1	<i>I</i>			T
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	:	専任・ 兼担任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専信 兼担 兼信 の別	<u>.</u>	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		粕谷 圭佑				粕谷 圭佑				粕谷 圭佑
専他	准教 授	<令和4年4月> 修士(教育学) 学級集団づくりの実践分析研究 課題研究 I 課題研究 I		専他	准教 授	<令和4年4月> 修士(教育学) 学級集団づくりの実践分析研究 課題研究 I 課題研究 I	専	他	准教 授	<令和4年4月> 修士(教育学) 学級集団づくりの実践分析研究 課題研究 I 課題研究 I
		狩野 宏明	-			 	\vdash	-		
専他	准教 授	マティア 本明 マライ 本明 マライ 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明 本明		兼任	講師	付野 広明 < 令和4年4月 > 博士 (芸術学) ICTを含む授業実践(図画工作・美術)※ 教科内容と教材開発<総画分野・絵に表す-平面的な造形表現>※				
		河本 大地	ŀ			河本 大地				河本 大地
専他	准教 授	<令和4年4月> 博士(文学) ESDと地域創生 SDGsフィールドワーク 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史I)※ 教科内容と教材開発(社会・地理歴 史I)※ 課題研究 I 課題研究 I		専他	准教 授	<令和4年4月> 博士(文学) ESDと地域創生 SDGsフィールドワーク 教科内容と教材開発(社会・地 理歴史 I)※ 理歴史 II)※ 課題研究 I 課題研究 I	専	他	准教 授	<令和4年4月> 博士(文学) ESDと地域創生 SDGsフィールドワーク 教科内容と教材開発(社会・地 理歴史 I)※ 理歴史 II)※ 課題研究 I 課題研究 I
		小長谷 達郎	ŀ			小長谷 達郎	F			小長谷 達郎
専他	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学) ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:生物分 野) 課題研究 I 課題研究 I		専他	准教 授	<令和4年4月> 博士 (理学) ICTを含む授業実践 (理科) ※ 教科内容と教材開発 (理科:生 物分野) 課題研究 I 課題研究 I	専	他	准教 授	<令和4年4月> 博士(理学) ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:生 物分野) 課題研究 I 課題研究 I
		世良啓太	ŀ			世良啓太	-			世良啓太
専他	准教授	<令和4年4月> 博士(学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(技術)※ ICTを含む授業実践(技術)※ APA内容と教材開発(技術:電気情報分野)※ 教科内容と教材開発(技術:栽培分野)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ		専他	准教授	<令和4年4月> 博士(学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(技術)※ ICTを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術:電気情報分野)※ 教科内容と教材開発(技術:載 数部内容と教材開発(技術:載 技分野)※ 教科内容と教材開発(技術:載 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅰ	専	他	准教授	<令和4年4月> 博士 (学校教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(技術)※ 10Tを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術:電気情報分野)※ 教科内容と教材開発(技術:栽 対発列究と教材開発(技術:栽 は規分野の窓」 課題研究Ⅰ
専他	准教 授	高木 祐介 《令和4年4月》 博士(健康科学) 1CTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(保健領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	- - -	専他	准教 授	高木 祐介 《令和4年4月》 博士(健康科学) ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(保健領域)※ 課題研究 I 課題研究 I				

専任・		т. Б		専任・		rt. Ø	専任・		rt. Ø
兼担 · 兼任		氏 名		兼担・ 兼任		氏 名	兼担 · 兼任		氏 名
か別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等		釈性 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名
		高橋 亮				高橋 亮			高橋 亮
		<令和4年4月> 博士(理学)				<令和4年4月> 博士(理学)			<令和4年4月> 博士(理学)
専他	准教 授	ICTを含む授業実践(算数・数学) ※ 教科内容と教材開発(解析)※ 課題研究 I 課題研究 I		専他	准教 授	ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(解析)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	専他	准教 授	ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(解析)※ 課題研究 I 課題研究 I
		立 正伸	ŀ			立 正伸			立 正伸
		·· <令和4年4月> 博士(学術)							< 令和4年4月> 博士 (学術)
専他	准教 授	ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(運動領域)※ 課題研究 I 課題研究 I		専他	准教 授	ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(運動領 域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	ICTを含む授業実践(保健体育)※ 教科内容と教材開発(運動領 域)※ 課題研究 I 課題研究 I
		中川 愛	ŀ			中川 愛			中川 愛
		<令和4年4月> 博士(学校教育学)				<令和4年4月> 博士(学校教育学)			<令和4年4月> 博士(学校教育学)
専他	准教 授	教科の原理と授業づくり(家庭科) ※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン 領域)※ 教科内容と教材開発(健康生活領域)※ 教理ので、I 課題研究 I		専他	准教 授	教科の原理と授業づくり(家庭 科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(健康生活 領域)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	科科の原理と授業づくり(家庭科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(健康生活領域)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教 授	中澤 静男 < 令和4年4月> 教育学修士 ESD-SDGsの理論と実践 ESDカリキュラムマネジメント 課題研究 I 課題研究 I		専他	教授	中澤 静男 < 令和4年4月> 教育学修士 ESD-SDGsの理論と実践 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	中澤 静男 <令和4年4月> 教育学修士 ESD-SDGsの理論と実践 課題研究 I 課題研究 I
		中山 留美子	ŀ			中山 留美子			中山 留美子
専他	准教 授	<令和4年4月> 博士(心理学) 発達理論と教育実践 課題研究 I		専他	准教 授	<令和4年4月> 博士(心理学) 発達理論と教育実践 課題研究 I	専他	教授	<令和4年4月> 博士(心理学) 発達理論と教育実践 課題研究.I
		課題研究Ⅱ				課題研究Ⅱ			課題研究Ⅱ
		信川 正順	ľ			信川 正順			信川 正順
	∕ IL ∌L	<令和4年4月> 博士(理学)			¥L ±/L	<令和4年4月> 博士(理学)		γμ.∌/L	<令和4年4月> 博士(理学)
専他	准教 授	ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地学分 野) 課題研究 I 課題研究 I		専他	准教 授	ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地 学分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授 ———————————————————————————————————	ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:地 学分野) 課題研究 I 課題研究 I
			L						

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専他	准教 授	原山 健一 《令和4年4月》 学士 (芸術) 教科内容と教材開発〈工芸分野・デザイン分野・工作に表す-用途のある造形表現〉※ 教科内容と教材開発〈彫刻分野・立体に表す・造形遊び-立体的な造形表現〉※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	原山 健一 《令和4年4月》 学士 (芸術) 教科内容と教材開発〈工芸分野・デザイン分野・工作に表す- 用途のある造形表現〉※ 野・立体に表す・造形遊び-立体的な造形表現〉※ 課題研究 I 課題研究 I		専他	教授	原山 健一 〈令和4年4月〉 学士 (芸術) 教科内容と教材開発<工芸分野・デザイン分野・工作に表す- 用途のある造形表現> ※ 教科内容と教材開発<彫刻分野・立体に表す・造形遊び一立体的な造形表現> ※ 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	舟橋 友香 〈令和4年4月〉 修士 (教育学)※ 教科の原理と授業づくり(算数・数学)※ ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(確率・統計)※ 教科内容と教材開発(コンピュータ・応用数学)※ 教科内容と教材開発(幾何)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	専他	准教授	舟橋 友香 《令和4年4月》 修士(教育学)※ 教科の原理と授業づくり(算数・数・数学)※ ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(確率・統計)※ 教科内容と教材開発(コンヒカータ・応用数学)※ 教科内容と教材開発(当次と教科内容と教材開発(誤例)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ		専他	准教授	舟橋 友香 《令和4年4月> 修士(教育学)※ 教科の原理と授業づくり(算数・数学)※ ICTを含む授業実践(算数・数学)※ 教科内容と教材開発(確率・統計)※ 教科内容と教材開発(コン ドカータ・応用数学)※ 教科内容と教材開発(幾何)※ 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
専他	准教授	北條 美香代 《令和4年4月》 博士 (音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作) 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 課題研究 I 課題研究 II	専他	教授	北條 美香代 <令和4年4月> 博士 (音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教内内容と教材開発(鑑賞・創作) 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ 声楽) 課題研究 I 課題研究 I		専他	教授	北條 美香代 〈令和4年4月〉 博士 (音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ APA内容と教材開発(鑑賞・創作) 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ 声楽)※ 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	堀田 千絵	兼任	講師	堀田 千絵 〈令和4年4月〉 博士 (心理学) 特別支援教育の教育課程論※ ユニバーサルな授業デザイン 課題探求実習 課題解決実習 B (特別支援教育) へき地学校実習 特別支援教育アセスメント事例 研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※ 課題研究 I		兼任	講師	堀田 千絵 〈令和4年4月〉 博士(心理学) ユニパーサルな授業デザイン

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専他	准教授	水野 亜歴 〈令和4年4月〉 修士 (音楽) 教科の原理と授業づくり (音楽) ※ ICTを含む授業実践 (音楽) ※ 教科内容と教材開発 (鑑賞・創作) ※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ) ※ 教科内容と教材開発(表現領域・声楽) 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	水野 亜歴 <令和4年4月> 修士(音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)※ 調料の容と教材開発(表現領域・農薬) 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	水野 亜歴 〈令和4年4月〉 修士(音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ビアノ)※ 調題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	箕作 和彦 《令和4年4月》 博士 (応用生命科学) 教科の原理と授業づくり (技術) ※ ICTを含む授業実践 (技術) ※ 教科内容と教材開発 (技術: 栽培分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	箕作 和彦 《令和4年4月》 博士 (応用生命科学) 教科の原理と授業づくり(技術)※ ICTを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術:栽 持分野) 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	箕作 和彦 < 令和4年4月> 博士 (応用生命科学) 教科の原理と授業づくり(技術)※ ICTを含む授業実践(技術)※ 教科内容と教材開発(技術: 栽 持分野) 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	宮尾 夏姫 《令和4年4月》 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(保健体育)※ ICTを含む授業実践(保健体育)※ 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	宮尾 夏姫 <令和4年4月> 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(保健体育)※ ICTを含む授業実践(保健体育)※ 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	宮尾 夏姫 《令和4年4月》 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 課題研究 I 課題研究 I
専他	准教授	村上 睦美 《令和4年4月》 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(家庭科)※ ※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学基礎実験科内容と教材開発(健康生活領域)※ 課題研究 I 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	村上 睦美 〈令和4年4月〉修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習 A 教科の原理と授業づくり(家庭科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学基礎科)※ 教科内容と教材開発(健康生活領域)等 基礎科外等と 観域場が開発(健康生活領域)等 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	村上 睦美 〈令和4年4月〉 修士(教育学) 課題探求実習 課題解決実習A 教科の原理と授業づくり(家庭 科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※ 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学 基礎科内容と教材開発(健康生活領域)※ 課題研究 I 課題研究 I

専任 ·		п Б	専任・		氏 名	専任・		rt b
兼担 · 兼任		氏名	兼担 · 兼任			兼担 • 兼任		氏 名
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		米倉 陽子			米倉 陽子			米倉 陽子
		<令和4年4月> 修士(文学)※			<令和4年4月> 修士(文学)※			<令和4年4月> 修士(文学)※
専他	准教 授	教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす)※ 教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす)※ 教科内容と教材開発(英文法指導) 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ	専他	教授	教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす)※ 教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす)※ 教科内容と教材開発(英文法指導) 課題研究 I 課題研究 I	専他	教授	教科内容と教材開発(テキストをスピーキングに活かす)※ 教科内容と教材開発(テキストをライティングに活かす)※ 教科内容と教材開発(英文法指導) 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
			専他	准教授	鈴木 啓資 《令和4年4月》 博士 (音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)	専他	准教授	鈴木 啓資 〈令和4年4月〉 博士(音楽) 教科の原理と授業づくり(音楽)※ ICTを含む授業実践(音楽)※ 教科内容と教材開発(鑑賞・創作)※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピアノ)
					条科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 課題研究 I 課題研究 I			教科内容と教材開発(表現領域・声楽)※ 課題研究 I 課題研究 I
					及川 幸彦			及川 幸彦
					<令和4年4月>			<令和4年4月> 博士(地球環境学)※
			専他	准教 授	博士(地球環境学)※ ESDカリキュラムマネジメント ESDと総合的な学習の時間特講 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教 授	博工(地球環境子)次 課題探決実習 課題解決実習 A ESDカリキュラムマネジメント ESDと総合的な学習の時間特購 課題研究 I 課題研究 I
						専他	准教授	藤崎亜由子 《令和5年4月》 博士(学術) 保育・幼児教育の内容論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 幼小連携・接続の理論と実践の展開 カカある幼稚園・保育所・こども関等の運営 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅰ
専他	講師	富井 奈菜実 <令和4年4月> 修士(人間科学) 発達障害児の理解と支援※ 課題探求実習 課題解決実習B(特別支援教育) 特別支援教育アセスメント事例研究 ※ 特別支援教育コーディネーター論※ 自閉症児の理解と支援 課題研究 I 課題研究 I	専他	講師	富井 奈菜実 《令和4年4月》 修士(人間科学) 発達障害児の理解と支援※ 課題探求実習 B (特別支援教育) 特別支援教育アセスメント事例研究※ 特別支援教育コーディネーター論※ 自閉症児の理解と支援 課題研究 I 課題研究 I	専他	准教授	富井 奈菜実 《令和4年4月》 修士(人間科学) 発達障害児の理解と支援※ 課題探求実習 課題解決実習B(特別支援教育) 特別支援教育アセスメント事例研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※ 自閉症児の理解と支援 課題研究 I 課題研究 I

声ル	1		また			また		
専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								樋口 健介
						専他	准教授	<令和5年4月> 修士(芸術学) ICTを含む授業実践(図画工作・美術)※
							按	教科内容と教材開発<絵画分野・絵に表すー平面的な造形表現>※ 課題研究 I 課題研究 I
								山田 実樹 <令和5年4月> 博士 (学術)
						専他	講師	博工 (子刊) 教科内容と教材開発 (語彙・文 法) 教科内容と教材開発 (音声言 語) ※ 課題研究 I 課題研究 I
		前田 康二			前田 康二			前田 康二
		<令和4年4月> 学士(文学)			<令和4年4月> 学士(文学)			<令和4年4月> 学士(文学)
実専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 教科の原理と授業づくり(小学校外 国語) ICTを含む授業実践(小学校外国 語・英語)	実専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 教科の原理と授業づくり(小学 校外国語) ICTを含む授業実践(小学校外国 語・英語)	実専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 教科の原理と授業づくり(小学 校外国語) ICTを含む授業実践(小学校外国語・英語)
		正 人			コースのの 教科内容と教材開発(小学校外 国語) 課題研究 I 課題研究 I			正 人口の 教科内容と教材開発(小学校外 国語) 課題研究 I 課題研究 I
		山本 敏久			山本 敏久			山本 敏久
		修士 (教育学) 教育課程の開発と改善			修士 (教育学) 教育課程の開発と改善			修士 (教育学) 教育課程の開発と改善
実専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A 課題解決実習 B (特別支援教育) へき地学校実習	実専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A 課題解決実習 B (特別支援教 育)	実専	教授	課題探求実習 課題解決実習 A 課題解決実習 B (特別支援教 育)
		カリキュラム・マネジメント実践論 ※ 課題研究 I 課題研究 I			へき地学校実習 カリキュラム・マネジメント実 践論※ 課題研究 I 課題研究 I			へき地学校実習 カリキュラム・マネジメント実 践論※ 課題研究 I 課題研究 I
					中川 貴明			中川 貴明
					<令和4年4月> 教育学士			<令和4年4月> 教育学士
			実専	教授	課題研究 I 課題研究 II	実専	教授	特別支援教育と学校・学級経営 課題探求実習 課題解決実習B(特別支援教育) 重度障害児の理解と支援 特別支援教育アセスメント事例 研究: 場別交援教育コーディネーター 論※ 課題研究 I
				**************************************			70.0	特別支援教育アセスメント研究※ 特別支援教育コーディネー 論※

専任・ 兼担・ 兼任 の別 氏名 一様名 (就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 担当授業科目名 小崎 誠二 〈令和4年4月〉 教育学士 (令和4年4月〉 教育学士 学校組織とアカウンタビリティ課題探求実習課題解決実習及 課題解決実習及 へき地学校実習 (本教 へき地学校実習」 本教 へき地学校実習 (本教 へき地学校実習」	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
の別 職名 (ア足) ギガン (保有学位等	職名	保有学位等
小崎 誠二		担当授業科目名
く令和4年4月> 教育学士 学校組織とアカウンタビリティ 課題探求実習 課題解決実習 A 本本 准教 へき地学校実習		
教育学士 教育学士 学校組織とアカウンタビリティ 課題探求実習 課題解決実習 課題解決実習 課題解決実習 は 本		
学校組織とアカウンタビリティ 課題探求実習 課題解決実習 A		
実専 (基本) 遠隔教育実践演習		
		山内 雅雄
		<令和5年4月> 教育学士 学校組織とアカウンタビリティ
	准教 授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地力応用演習 授製研究 I 課題研究 I
竹村 謙司 竹村 謙司		竹村 謙司
<令和4年4月> 理学士 <令和4年4月> 理学士		<令和4年4月> 理学士
課題探求実習 課題探求実習 課題探求実習	. 教授	理子工 課題探求実習 課題解決実習A 遠隔教育実践演習 教育のためのデータサイエンス 課題研究 I 課題研究 I
大西 浩明 大西 浩明		大西 浩明
<		<令和4年4月>
実み 准教 実み 提製探求実習 実み 接教 課題探求実習 実み 実み 接数 関数では実習 実み まみ まみ まみ まみ まみ まみ まみ	准教 授	文学士 課題探求実習
課題解決実習 A ESD-SDGsの理論と実践 ESDと総合的な学習の時間特講 ESDと総合的な学習の時間特講		課題解決実習A ESD-SDGsの理論と実践 ESDと総合的な学習の時間特講
大橋 輝雄 大橋 輝雄		大橋 輝雄
<令和4年4月> 教育学士 教育学士		<令和4年4月> 教育学士
実み 准教 課題探求実習 実み 指数 課題探求実習 実み 提 課題解決実習 と	准教 授	課題探求実習課題解決実習A
「課題所次美音名 授業力基礎演習 課題研究 I 課題研究 I		課題所の英昌名 授業力を検演習 課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
柿本 篤子 柿本 篤子		柿本 篤子
(今和4年4月) (今和4年4月) (本教 授 授) (本教 授 授)	准教 授	<令和4年4月> 家政学士
授業力基礎演習 学級・学校づくりと特別活動 学級・学校づくりと特別活動		授業力基礎演習 学級・学校づくりと特別活動

亩Д.				亩仁.			F	まば.		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	3	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
		阪部 清				阪部 清	ľ			阪部 清
		<令和4年4月> 商学士				<令和4年4月> 商学士				<令和4年4月> 商学士
実み	准教 授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 課題研究 I 課題研究 I ESDとしての教育実践(理数・生活 科学領域)※		実み	准教 授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 課題研究 I 課題研究 I ESDとしての教育実践(理数・生 活科学領域)※		実み	准教 授	課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 課題研究 I 課題研究 I ESDとしての教育実践(理数・生 活科学領域)※
		田中 幸臣				田中幸臣	ŀ			田中幸臣
実み	准教	<令和4年4月> 農学士		実み	准教	<令和4年4月> 農学士		実み	准教	<令和4年4月> 農学士
	授	授業力基礎演習 学級経営実践論			授	授業力基礎演習 学級経営実践論			授	授業力基礎演習 学級経営実践論
		廣岡 敏美								
		<令和4年4月> 文学士								
実み	准教 授	課題探求実習 課題解決実習 A 課題研究 I 課題研究 I ESDとしての教育実践(言語・社会 科学領域)※								
		米谷 幸				米谷 幸	-			米谷 幸
		<令和4年4月> 芸術学士				<令和4年4月> 芸術学士				<令和4年4月> 芸術学士
実み	准教 授	学級経営の基礎・基本 課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 課題研究 I 課題研究 I		実み	准教 授	学級経営の基礎・基本 課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 課題研究 I 課題研究 I		実み	准教 授	学級経営の基礎・基本 課題探求実習 課題解決実習 A へき地学校実習 課題研究 I 課題研究 I
		橋本 昭典				橋本 昭典				橋本 昭典
苯 +0	≯ +□	<令和4年4月>		本中	≯ +□	<令和4年4月>		本 中	补 恒	<令和4年4月>
兼担	教授	博士 (文学) 教科内容と教材開発 (古典文学) I ※		兼担	教授	博士 (文学) 教科内容と教材開発 (古典文 学) I ※		兼担	教授	博士 (文学) 教科内容と教材開発 (古典文 学) I ※
		前田 広幸				前田 広幸	-			前田 広幸
兼担	教授	<令和4年4月> 修士(文学)		兼担	教授	<令和4年4月> 修士(文学)		兼担	教授	<令和4年4月> 修士(文学)
		教科内容と教材開発(音声言語)※				教科内容と教材開発(音声言 語)※				教科内容と教材開発(音声言 語)※
		吉村 雅仁				吉村 雅仁	ľ			吉村 雅仁
兼担	教授	<令和4年4月> 教育学修士		兼担	教授	<令和4年4月> 教育学修士		兼担	教授	<令和4年4月> 教育学修士
		教科内容と教材開発(小学校外国 語)				教科内容と教材開発(小学校外 国語)				教科内容と教材開発(小学校外 国語)
			-							·

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼担	教授	高木 祥司 〈令和4年4月〉 博士 (理学) ICTを含む授業実践 (算数・数学) ※ 教科内容と教材開発 (確率・統計) ※	兼担	教授	高木 祥司 《令和4年4月》 博士 (理学) ICTを含む授業実践 (算数・数学) ※ 教科内容と教材開発 (確率・統計) ※	兼担	教授	高木 祥司 〈令和4年4月〉 博士 (理学) ICTを含む授業実践 (算数・数学)※ 教科内容と教材開発 (確率・統計)※
兼担	教授	豊田 宗児 《令和4年4月> 教育学士 教科の原理と授業づくり(書道)※ ICTを含む授業実践(書道)※ 教科内容と教材開発(漢字書法)※ 教科内容と教材開発(書道史)※ 教科内容と教材開発(書道中)総 賞)※	兼担	教授	豊田 宗児 〈令和4年4月〉 教育学士 教科の原理と授業づくり(書 道)※ ICTを含む授業実践(書道)※ 教科内容と教材開発(漢字書 法)※ 教科内容と教材開発(書道史) ※ 教科内容と教材開発(書道作品 鑑賞)※	兼任	教授	豊田 宗児 < 令和4年4月> 教育学士 教科の原理と授業づくり(書 道)※ ICTを含む授業実践(書道)※ 教科内容と教材開発(漢字書 法)※ 教科内容と教材開発(書道史) ※ 教科内容と教材開発(書道作品 鑑賞)※
兼担	教授	松山 豊樹 ((<令和4年4月> 理学博士 ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:物理分野)	兼担	教授	松山 豊樹 < 令和4年4月 > 理学博士 ICTを含む授業実践(理科) ※ 教科内容と教材開発(理科:物理分野)	兼任	教授	松山 豊樹 <令和4年4月> 理学博士 教科内容と教材開発(理科:物理分野)
兼担	教授	森本 弘一	兼担	教授	森本 弘一 《令和4年4月》 博士(学校教育学) ICTを含む授業実践(理科) 教科内容と教材開発(理科:生物分野)※ 教科内容と教材開発(理科:地学分野)※			
兼担	准教 授	北山 聡佳 《令和4年4月》 修士(人間・環境学)※ 教科の原理と授業づくり(書道)※ 教科内容と教材開発(書道作品鑑賞)※	兼担	准教 授	北山 聡佳 <令和4年4月> 修士(人間・環境学)※ 教科の原理と授業づくり(書道)※ 教科内容と教材開発(書道作品鑑賞)※	兼担	准教 授	北山 聡佳 <令和4年4月> 修士(人間・環境学)※ 教科の原理と授業づくり(書道)※ 教科内容と教材開発(書道作品鑑賞)※

± /~			÷ 1	_	1		1	
専任・ 兼担・ 兼任		氏 名	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		宮下 俊也			宮下 俊也			宮下 俊也
兼担	講師 (理 事)	<令和4年4月> 芸術学修士 教育学修士 STEAM教育演習※	兼担	講師 (理事学長	<令和4年4月> 芸術学修士 教育学修士 STEAM教育演習※	兼担	講師(理事	<令和4年4月> 芸術学修士 教育学修士 STEAM教育演習※
	₹/	ESDとしての教育実践(芸術・保健 体育領域)※		研究科 長)	ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※		学長)	SILAM教育演日次
		浅田 重義			浅田 重義			浅田 重義
	講師	<令和4年4月> 農学修士			<令和4年4月> 農学修士			<令和4年4月> 農学修士
兼担	(理 事)	授業力基礎演習	実み	教授	授業力基礎演習 課題研究 I 課題研究 I	実み	教授	課題探求実習 課題解決実習 A 授業力基礎演習 課題研究 I 課題研究 I
		中村 基一			中村 基一			中村 基一
兼担	講師	<令和4年4月> 学士	兼担	講師	<令和4年4月> 学士	兼任	講師	<令和4年4月> 学士
		ESDとしての教育実践(言語・社会 科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)※
		入澤 佳菜			入澤 佳菜			入澤 佳菜
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)
		ESDとしての教育実践(言語・社会 科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社 会科学領域)※
		奥原 牧			奥原 牧			
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)			
		ESDとしての教育実践(言語・社会 科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)※			
		若森 達哉			若森 達哉			
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育学)			
		ESDとしての教育実践(言語・社会 科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)※			
		市橋 由彬			市橋 由彬			
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教養)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教養)			
		ESDとしての教育実践(言語・社会 科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・社会科学領域)※			
		佐竹 靖			佐竹 靖			佐竹 靖
兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
		ESDとしての教育実践(理数・生活 科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※
		葉山 泰三			葉山 泰三			葉山 泰三
兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
		ESDとしての教育実践(理数・生活 科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※

+ /-		1	+ /-		1	+ 1-		1
専任・兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		中嶋 たや			中嶋 たや			中嶋 たや
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(教育)
		ESDとしての教育実践(理数・生活 科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※
		挽地 夕姫						
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(音楽)						
		ESDとしての教育実践(芸術・保健 体育領域)※						
		長友紀子			長友紀子			長友紀子
兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
		ESDとしての教育実践(芸術・保健 体育領域)※			ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※			ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※
		井上 寬崇			井上 寬崇			井上 寬崇
兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
		ESDとしての教育実践(芸術・保健 体育領域)※			ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※			ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※
		佐藤 朗			佐藤 朗			佐藤 朗
兼担	講師	<令和4年4月> 学士(体育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(体育学)	兼担	講師	<令和4年4月> 学士(体育学)
		ESDとしての教育実践(芸術・保健 体育領域)※			ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※			ESDとしての教育実践(芸術・保健体育領域)※
								西村 大輔
								<令和5年4月> 修士(教育学)
						兼担	准教 授	教科内容と教材開発 (書道史) 教科内容と教材開発 (書道作品 鑑賞)
					加藤 久雄			加藤 久雄
			兼任	教授	<令和4年4月> 文学修士	兼任	教授	<令和4年4月> 文学修士
					ESDとしての教育実践(言語・ 社会科学領域)※			ESDとしての教育実践(言語・ 社会科学領域)※
		生田 周二			生田 周二			生田 周二
兼任	教授	<令和4年4月> 教育学修士※	兼任	教授	<令和4年4月> 教育学修士※	兼任	教授	<令和4年4月> 教育学修士※
774		教育支援と子どもの権利 子どもの権利を踏まえた教育支援の 実践	F11.5 (min.		教育支援と子どもの権利 子どもの権利を踏まえた教育支 援の実践	-114 lab		教育支援と子どもの権利 子どもの権利を踏まえた教育支 援の実践
		森伸宏			森伸宏			森伸宏
		<令和4年4月> 経済学修士※			<令和4年4月> 経済学修士※			<令和4年4月> 経済学修士※
兼任	教授	ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公民	兼任	教授	ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公	兼任	教授	ICTを含む授業実践(社会)※ 教科内容と教材開発(社会・公
1		I)※ 教科内容と教材開発(社会・公民			民 I)※ 教科内容と教材開発(社会・公			民 I)※ 教科内容と教材開発(社会・公

専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任		氏 名 <就任(予定)年月>
の別	職名	保有学位等	の別	職名	保有学位等	の別	職名	保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		中西 陽			中西 陽			中西 陽
* 1	准教	<令和4年4月> 博士(心理学)	* /	准教	<令和4年4月> 博士(心理学)	* /-	准教	<令和4年4月> 博士(心理学)
兼任	授	特別支援教育アセスメント事例研究 ※ 特別支援教育コーディネーター論※ 特別支援教育の心理学	兼任	授	特別支援教育アセスメント事例 研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※	兼任	授	特別支援教育アセスメント事例 研究※ 特別支援教育コーディネーター 論※
		NAME OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY OF THE PR			特別支援教育の心理学			特別支援教育の心理学
		堀 麻佑子			堀 麻佑子			堀 麻佑子
兼任	准教 授	<令和4年4月> 博士(心理学)	兼任	准教 授	<令和4年4月> 博士(心理学)	兼任	准教 授	<令和4年4月> 博士(心理学)
		子どもの「学び」と心理学			子どもの「学び」と心理学			子どもの「学び」と心理学
								名倉 昌巳
								<令和5年4月> 博士(学校教育学)
						兼任	授	ICTを含む授業実践(理科)※ 教科内容と教材開発(理科:生物分野)※ 教科内容と教材開発(理科:地学分野)※
								寅嶋 静香
						兼任	准教	<令和5年4月> 博士(学術)
						XKII.	授	教科内容と教材開発(保健領 域)※
		岩本 華子			岩本 華子			岩本 華子
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(社会福祉学)	兼任	准教	<令和4年4月> 博士(社会福祉学)
		子ども家庭福祉の理論と実践子育て支援の理論と実践			子ども家庭福祉の理論と実践 子育て支援の理論と実践		132	子ども家庭福祉の理論と実践 子育て支援の理論と実践
		竹村 景生			竹村 景生			竹村 景生
兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
X		ESDとしての教育実践(理数・生活 科学領域)※	N/II		ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※	N/II		ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※
		中澤 哲也			中澤 哲也			中澤 哲也
兼任	講師	<令和4年4月> 教職修士(専門職)	兼任	講師	<令和4年4月> 教職修士(専門職)	兼任	講師	<令和4年4月> 教職修士(専門職)
		ESDとしての教育実践(理数・生活 科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※			ESDとしての教育実践(理数・生活科学領域)※
		上村 尚平			上村 尚平			上村 尚平
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学)
		STEAM教育演習※			STEAM教育演習※			STEAM教育演習※
		大背戸 豊			大背戸 豊			大背戸 豊
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)
		STEAM教育演習※			STEAM教育演習※			STEAM教育演習※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		才脇 直樹			才脇 直樹			才脇 直樹
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(工学)
		STEAM教育演習※			STEAM教育演習※			STEAM教育演習※
		安在 絵美			安在 絵美			安在 絵美
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学) STEAM教育演習※	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学) STEAM教育演習※	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学) STEAM教育演習※
		木林 有理子 <令和4年4月>						
兼任	講師	博士 (学術) 教科内容と教材開発 (生活デザイン						
		教件内容と教材開発(生活デザイン 領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学基礎 実験領域)※						
		古賀 松香			古賀 松香			古賀 松香
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(子ども学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(子ども学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(子ども学)
		保育・幼児教育の質の確保と向上 【隔年】			保育・幼児教育の質の確保と向 上【隔年】			保育・幼児教育の質の確保と向 上【隔年】
		佐川 早季子			佐川 早季子			佐川 早季子
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(教育学)
		保育・幼児教育の質的研究【隔年】			保育・幼児教育の質的研究【隔 年】			保育・幼児教育の質的研究【隔 年】
		島恒生			島恒生			島 恒生
兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	<令和4年4月> 修士(教育学)
		道徳教育の理論と実践			道徳教育の理論と実践			道徳教育の理論と実践
		清水 裕子			清水 裕子			清水 裕子
	講師	<令和4年4月> 博士(学術)	* 1	講師	<令和4年4月> 博士(学術)	** '	講師	<令和4年4月> 博士(学術)
兼任	H1761	教科内容と教材開発(生活デザイン 領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学基礎 実験領域)※	兼任	HIZE	教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学 基礎実験領域)※	兼任	HIZE	教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学 基礎実験領域)※
		谷川 雅夫						
		<令和4年4月> 学士(教育学)						
兼任	講師	教科の原理と授業づくり (書道) ※ ICTを含む授業実践 (書道) ※ 教科内容と教材開発 (漢字書法) ※ 教科内容と教材開発 (書道史) ※ 教科内容と教材開発 (書道作品鑑賞) ※						

専任・		氏 名	専任・		氏 名	専任・		氏 名
兼担 · 兼任			兼担· 兼任			兼担・ 兼任		
の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等	の別	職名	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		田山 育男						
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(理学)						
		教科内容と教材開発 (幾何)※						
		中俣 尚己			中俣 尚己			
兼任	講師	<令和4年4月> 博士(言語文化学)	兼任	講師	<令和4年4月> 博士(言語文化学)			
		教科内容と教材開発(語彙・文法)			教科内容と教材開発(語彙・文 法)			
		福光 佐今			福光 佐今			
		<令和4年4月> 学士(教育学)			<令和4年4月> 学士(教育学)			
兼任	講師	教科の原理と授業づくり(書道)※ ICTを含む授業実践(書道)※ 教科内容と教材開発(漢字書法)※	兼任	講師	教科内容と教材開発(書道史) ※ 教科内容と教材開発(書道作品			
		教科内容と教材開発(書道史)※ 教科内容と教材開発(書道作品鑑 賞)※			鑑賞)※			
		藤岡 秀樹			藤岡 秀樹			藤岡 秀樹
兼任	講師	<令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	<令和4年4月> 教育学修士	兼任	講師	<令和4年4月> 教育学修士
		学校教育と心理学			学校教育と心理学			学校教育と心理学
		細川 憲次			細川 憲次			
兼任	講師	<令和4年4月> 工学士	兼任	講師	<令和4年4月> 工学士			
		インクルーシブ教育原論			インクルーシブ教育原論			
		前田 則子						
		<令和4年4月> 芸術学修士						
		教科の原理と授業づくり(音楽)※ 10Tを含む授業実践(音楽)※						
兼任	講師	教科内容と教材開発(鑑賞・創作) ※ 教科内容と教材開発(表現領域・ピ						
		アノ) 教科内容と教材開発(表現領域・声						
		楽)※						
		かもよっ			<i>₩</i> + ₽ 2			tハ+ 止っ
		松本 歩子			松本 歩子			松本 歩子
兼任	講師	博士 (学術) 教科の原理と授業づくり (家庭科)	兼任	講師	博士 (学術) 教科の原理と授業づくり (家庭	兼任	講師	博士 (学術) 教科の原理と授業づくり (家庭
		が、 ICTを含む授業実践(家庭科)※			(4) (水道と 10 (水道) (水道) (水道) (水道) (水道) (水道) (水道) (水道)			科)※ ICTを含む授業実践(家庭科)※
		水野 治久			水野 治久			水野 治久
	=# AT	小野 冶久 <令和4年4月>		=# 4~	「小野」 冶久 <令和4年4月>		=# +-	小野 冶久 <令和4年4月>
兼任	講師	博士 (心理学)	兼任	講師	博士 (心理学)	兼任	講師	博士 (心理学)
		子どもの発達の理解と支援※			子どもの発達の理解と支援※			子どもの発達の理解と支援※

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	山本 智子 <令和4年4月> 博士(社会科学) LD児・ADHD児の理解と支援	兼任	講師	山本 智子 <令和4年4月> 博士(社会科学) LD児・ADHD児の理解と支援	兼任	講師	山本 智子 《令和4年4月》 博士 (社会科学) LD児・ADHD児の理解と支援
兼任	講師	四辻 伸吾 <令和4年4月> 博士 (心理学) 子どもの発達の理解と支援※	兼任	講師	四辻 伸吾 <令和4年4月> 博士 (心理学) 子どもの発達の理解と支援※	兼任	講師	四辻 伸吾 <令和4年4月> 博士(心理学) 子どもの発達の理解と支援※
兼任	講師	皐月 宏彰 《令和4年4月》 法学博士(専門職) 学校危機管理論	兼任	講師	皐月 宏彰 《令和4年4月》 法学博士(専門職) 学校危機管理論	兼任	講師	皐月 宏彰 《令和4年4月》 法学博士(専門職) 学校危機管理論
			兼任	講師	森川 与志夫 《令和4年4月》 教育学修士 教科の原理と授業づくり(社会)※ ICTを含む授業実践(社会)※	兼任	講師	森川 与志夫 <令和4年4月> 教育学修士 教科の原理と授業づくり(社会)※ ICTを含む授業実践(社会)※
			兼任	講師	西川 秀智 <令和4年4月> 教育学修士 教科の原理と授業づくり(社 会)※	兼任	講師	西川 秀智 <令和4年4月> 教育学修士 教科の原理と授業づくり(社会)※ ICTを含む授業実践(社会)※
			兼任	講師	岡崎 真也 <令和4年11月> 博士 (理学) 教科内容と教材開発 (幾何)※	兼任	講師	岡崎 真也 《令和4年11月》 博士 (理学) ICTを含む授業実践 (算数・数学) ※ 教科内容と教材開発 (幾何)※
						兼任	講師	森岡 理恵子 <令和5年4月> 教育学修士※ 学校臨床の理論と実践
						兼任	講師	森野 ひとみ 〈令和5年4月〉 博士(学術) 教科内容と教材開発(生活デザイン領域)※ 教科内容と教材開発(生活科学 基礎実験領域)※

専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・ 兼担・ か別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
						兼任	講師	服部 峰大
						兼任	講師	梅垣 朋美 <令和5年4月> 博士 (スポーツ健康科学) 教科の原理と授業づくり(保健 体育)※

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - 年齢は、<u>それぞれの年度の5月1日時点の満年齢</u>を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カの授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- 【令和4年度】

 ・令和4年3月辞職及び令和4年4月の非常勤講師就任により、横山真貴子の区分・職名を「専他・教授」より「兼任・講師」へ、
 狩野宏明の区分・職名を「専他・准教授」より「兼任・講師」へ変更した。
 ・中澤静男、原山健一、北條美香代、米倉陽子、竹村謙司が令和4年4月に准教授から教授へ昇任したため職名を「教授」へ変更。
 ・廣岡歓美について令和4年3月辞職のため担当教員より削除。
 ・後川地子、市は田野子について令和4年3月混職のため担当教員より削除。
 ・谷川雅夫、前田則子について令和4年3月混職のため担当教員より削除。
 ・令和4年4月、萱のリ子、鈴木啓資、及川幸彦、中川貴明、加藤久雄、森川与志夫、西川秀智が就任したため担当教員へ追加。
 ・令和4年4月、宮下俊也の学長・研究科長就任により職名に「学長・研究科長」を追加。
 ・令和4年4月、市後世の学長・研究科長就任により、東田・藤久雄、森川与志夫、西川秀智が就任したため担当教員へ追加。
 ・令和4年3月に非常動理事退任及び令和4年4月の教授就任により、美田重義の区分・職名を「兼担・講師(理事)」より「実み・教授」へ変更した。
 ・令和4年8月辞職及び令和4年9月の非常勤講師就任により、堀田千絵の区分・職名を「東也・准教授」より「兼任・講師」へ変更。
 ・令和4年1月、担当教員を任めため田山育男を削除し岡崎真也を追加。

- ・令和4年11月、担当教員交代のため田山育男を削除し岡崎真也を追加。

【令和5年度】

- ・令和5年4月に越野和之が研究科長に就任したため、職名に「研究科長」を追加するとともに、宮下俊也の職名から「研究科長」を削除。 ・令和5年4月に立正伸、中山留美子が昇任したため職名を「准教授」から「教授」へ変更。 ・令和5年4月に富井奈菜実が昇任したため職名を「講師」から「准教授」へ変更。

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - **慰可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 - 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C 教員審査)を受けてください。A C 教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における		
設置基準上の必要専	専任教員数のうち、 完成年度時における	専任教員数のうち、 完成年度時における
任教員数	設置基準上の必要教 授数	設置基準上の必要実 務家教員数
26	12	11
名	名	名

(注)・ 専門職大学院に関し必要な事項について定める件(平成十五年三月三十一日文部科学省告示第五十三号)により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【専門職大学院】

	į	设 置 田	寺の計 i	ш						現在(幸	设告	時)の状況			
教 授	准教授	講師	i 助教	計 (A)		助手 (A')	教 授	Ä	推教授	講角	師	助教	計 (B))	助手 (B')
44	39	1	0	84		0	52		34	2		0	88		0
(51)	(34)	(1)	(0)	(86)	1	(0)									
研究者教員	数 実務家	!教員数	みなし専任教	女員数		養のみ担当 の教員数	研究者教員	数	実務家	務家教員数 みなし専任教員数				義のみ担当 D教員数	
73		1	7			0	76	76 12		7		7		0	
(74)	(1	(2)	(7)			(0)									
	現在	報告時)	の完成年度時	の状況					現在(報告時)	の	完成年度時	の計画		
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)		助手 (C')	教 授	7		講自	哥	助教	計 (D)	,	助手 (D')
52	34	2	0	88		0	52		34	2		0	88		0
[+8]	[△5]	[+1]	[0]	[+4]	[0]	[+8]		[△5]	[+1]	[0]	[+4]	[0]
研究者教員	数 実務家	教員数	みなし専任教	女員数		養のみ担当 の教員数	研究者教員	数	実務家	教員数	ð,	なし専任教	女員数		炎のみ担当 D教員数
76		2	7	7		0	76		12		7				0
[+3]] [-	-1]	[0]	[0]	[+3]	[+	1]	Ī	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。 ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、駆可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 数員審査を受害済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 - 「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を配入するとともに、

 - [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)
 ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

 - ・「みなし専任教員数」には、「実務家教員数」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成									
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数							
65 (特任教員 70) 歳	0 名	0 名							

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) 設置時の計画(A) = -104.76

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 現在(報告時)の状況(B) 0

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') 設置時の計画(A')

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退 (未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職 位	専任教	員氏名	時期	必修・選択・自由の!	担	当予定科目	後	壬補充	状況	7	忧任辞证	艮(未	就任)の理Ⅰ	±			
	4/L 170	***.1.	本生マ	D4 4	必修	-	課題研究 I		1		R4.3.31辞職のため(4)							
'	1 教授 横山 真貴子		R4. 4	必修	1	課題研究Ⅱ		1		- K4. 3. 31音中級(2)7こを) (4)								
2	准教授	狩野	宏明	R4. 4	必修		課題研究I		1		R4.3.31辞職のため(4)							
	准软技	がまり	丛明	114.4	必修		課題研究Ⅱ		1			N4. J. J	1 百千 卯以	(4)				
					必修		課題研究I		1									
			卸 敏美	R4. 4	必修		課題研究Ⅱ		1									
3	准教授	教授 廣岡			必修	部	課題探求実習		1			R4.3.31辞職のため(4)						
٦	准软技	/gar (m)		枞大	弘天	114.4	選択	課	題解決実習	A	1			N4. J. J	「白干可以	(U) (E (A)		
					選択	選択 ESDとしての教育実践 語・社会科学領域)			2									
			合計	(D)							後任補充状況	の集計	(E)	ı				
	就任を辞	退した教	員数	担当科目	目数の合計	(a) +	(p) + (c)	①の合	計数	(a)	②の合語	†数(b	3の合計数 (c)					
				必	修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
				選	択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目		
	3	3 人		۸ -	人自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
						90	+	9	科目	計	8	料目	計	1	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての東任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
 「就任辞退(未就任)の理由」に設任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、
 「後年結本理典」の関にその教育を記載してください。 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

4 人 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目	番号	職	専任教員氏	名 時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等	の理由					
1 本教授				1.77	必修									
1 連載技 現田 千絵 R4.8 選択 三級 三級 三級 三級 三級 三級 三級 三					必修	課題研究Ⅱ	1	1						
通数性 現代 現代 現代 現代 現代 現代 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日					必修	課題探求実習	1							
1 推牧授 提出 千絵 R4.8 選択 特別支援教育の教育課程 ①					選択		別支							
選択 特別支援教育の教育障理 ① 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		an an i			選択	へき地学校実	1	D4 0 04414174	ma = 1					
選択 特別 接触 接触 接触 接触 接触 接触 接触 接	'	准教	党 堀田 十和	¥ R4.8	選択	特別支援教育の教育 論	課程 ①	- K4. 8. 31付け辞	職のため(5)					
1					選択		デザ ②							
2 数接 日高 住紀 R5.3 2 2 2 2 2 2 2 2 2					選択	特別支援教育アセス. ト事例研究	(کلا							
2 数接 日高 住紀 R5.3 2 2 2 2 2 2 2 2 2					選択	特別支援教育コーテ	1	1						
選択 株村の原理と持まずくり ②					必修		1	1						
2 教授 日高 住紀 R5.3 選択 「日本の日本業職(国					必修	課題研究Ⅱ	1	1						
選択					選択		(y) (2)							
株式学 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2	教授	選が 語) (2) 1994日 教科内容と教材開発(近					R5. 3. 31付け辞	職のため(5)					
選択 教科内氏と教育際を 近 (2								1						
3 連教授 高木 祐介 R5.3 選択 近日を含む異素質保健 ① ① (日本会 は長来) (保健 (保育) (保育) (保育) (保育) (保育) (保育) (保育) (保育)					選択		(近 ②							
A 本教授 A A A A A A A A A					必修	課題研究I	1							
選択 株育 (株育) (北京) (北京					必修	課題研究Ⅱ	1							
4 准教授 小崎 誠二 R5.3 選択 企修 課題研究 I ① ② ② ② ② 会計数 (b) ③ ③ の合計数 (c) 平音の 数 (a) 章 報目 ② 訳 1 ② 表目 包	3	准教	性教授 高木 祐介 R5.3 選択				保健 ①	R5. 3. 31付け辞	職のため(5)					
4 連択 次修 課題研究 I ① 選択 課題解決実習 ① ① 選択 小崎 誠二 Image: App of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of the part of t					選択		(保 ②							
4 准教授 小崎 該二 R5.3 選択 決量解決実習 (1) 選択 小崎 該二 選択 大き地学校実習 (1) 選択 学校組織とアカウンタビ (1) (1) (1) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2					必修	課題研究I	1							
選択 課題解決実習 A ①					必修	課題研究Ⅱ	1							
A 進教授 小崎 誠二 R5.3 選択 投棄力応用演習 ① R5.3.31付け退職のため (5) 選択 学校規模とアカウンタビ ① 選択 達隔教育実践演習 ① 選択 デジタル教材作成漢習 ① 選択 デジタル教材作成漢習 ①					必修	課題探求実習	1 1							
A 2条 大崎 誠二 R5.3 選択 授業力応用演習					選択	課題解決実習ん	Α ①							
運択 学校機能とアカウンタビ リティ リティ リティ リティ 連択 遠隔教育実践演習 リ 選択					選択	へき地学校実	1							
選択 リティ リティ 選択 遠隔教育実践演習 ①	4	准教	受 小﨑 誠二	R5. 3	選択	授業力応用演習	1	R5. 3. 31付け退	職のため(5)					
選択 遠隔教育実践演習 ① 選択 デジタル教材作成演習 ① 選択 学習の基盤力向上のた めのICT返用演習 ① 辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c) 必修 10 科目 必修 10 科目 必修 0 科目 必修 0 科目 選択 19 科目 選択 13 科目 選択 6 科目 選択 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目					選択		9 E ①	1						
選択 学習の基盤対向上のた めの101活用演習 後任補充状況の集計 (G) 接任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c) ②を修 10 科目 必修 10 科目 必修 0 科目 必修 0 科目 選択 13 科目 選択 6 科目 選択 0 科目 自由 0 科目 日由 0 科目 日本 日本 10 科目 日本 10 和記 10 和					選択		T (1)	1						
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田					選択	デジタル教材作成演	TT (1)	1						
合計 (F) 接任補充状況の集計 (G) 接任補充状況の集計 (G) 接任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c) ②の合計数 (d) ②の合計数 (d) ③の合計数 (d) ②の合計数 (d) ③の合計数 (d) ④ 利目 ②を修 ① 利目 ②を修 ② 利目 ②を修 ② 利目 ②を修 ② 利目 ②を修 ② 利目 ②を修 ② 利目 ③を修 ③ 利目 ③を修 ② 利目 ③を修 ② 利目 ③を修 ② 利目 ③を修 ③ 利目 ③を修 ③ 利目 ③を修 ③ 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ② 利目 ④ ③ 利目 ④ ③ ② ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ④ ③ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④					選択			1						
辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c) ①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c) 必修 10 科目 必修 10 科目 必修 0 料目 必修 0 料目 必修 0 料目 選択 19 科目 選択 13 科目 選択 6 料目 選択 0 料目 自由 0 科目 自由 0 料目 自由 0 料目 自由 0 料目		1	1	合計 (F)	1									
必修 10 科目 必修 10 科目 必修 0 科目 必修 0 科目 選択 19 科目 選択 13 科目 選択 6 科目 選択 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目		辞任			目数の合計	(a) + (b) + (c)		1						
選択 19 科目 選択 13 科目 選択 6 科目 選択 0 科目 4 白由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目														
4 人 自由 0 科目 自由 0 科目 自由 0 科目	1													
計 29 科目 計 23 科目 計 6 科目 計 0 科目		4		4 人						t				
					計 29 科目			計 6 科目	計 0 料目					

- (注)・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての事任教員**について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
 - に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、

「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数 (a)	②の合語	†数 (b)	③の合計数 (c)					
		必修	17	科目	必修	17 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
_		選択	21	科目	選択	14 ≉⊧	選択	7 科目	選択	0 科目			
/	λ.	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 料目			
		計	38	科目	計	31 ≉⊧	計	7 科目	計	0 料目			

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A) = 8.33

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- (3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

 - (3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	£等の	理由		
			該当なし												
			談当なし						-						
									-						
			É	計			後任補充状況の集計								
	話	¥任 l	た教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	b数 (a)	1	②の合計	十数 (b))	③の合計	十数(c)
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	0 Д		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
			0 人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 定年により退職した全ての事任教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、
 - 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した専任教員に係る授業科目全てについて、	同科目を担当しうる能力をもつ教員に引き継がれており、	学生の履修に支障はない。
学生へは、シラバス及び学生便覧によって周知し	ている。	

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
届出時(令和3年)	該当なし			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和4年)				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>**当該大学に付された指摘を</u></u>**
- 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学研究科 教職開発専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画

変更内容・状況、今後の見通しなど

カリキュラム・ポリシー

以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

- 1. 「専攻共通科目」(共通五領域)では、学校教育の基本となる課題について理論と実践の往還を通して学び、それに対応できる実践力を育みます。その中で、「奈良教育大学の3つの柱」の一つである「持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成」に即し、『ESD-SDGsの理論と実践』を配置します。
- 2. 「実践科目」として「実習科目」と「演習科目」を配置します。「実習科目」では、授業・指導補助・校務等の経験を通して課題を探求し解決できる高度な実践力を育みます。「演習科目」では、これからの時代を見据えた新しい教育に対応できる実践力を育みます。
- す。「演習科目」では、これからの時代を見据えた新しい教育に対応できる実践力を育みます。 3.「研究科目」では、自らの課題を解決する研究力と、理論と実践とを架橋できる力量を育みます。また、研究の成果・在学中の学び・身に付けた力量を学位研究報告書としてまとめ、学び続ける態度を育みます。
- 4. 「専門科目」として「学校教育マネジメント科目」「教育発達支援科目」「教科教育科目」を配置し、各コースに対応する実践力を育みます。

カリキュラム・ボリシーについて、令和3年度大学機関別認証評価 での指摘を受けて下記の通り(2)教育課程における教育・学修方法 に関する方針(3)学修成果の評価の方針を追記した。(令和4年 度)

カリキュラム・ポリシー

以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

(1)教育課程の編成の方針

1.「専攻共通科目」(共通五領域)では、学校教育の基本となる課題について理論と実践の往還を通して学び、それに対応できる実践力を育みます。その中で、「奈良教育大学の3つの柱」の一つである「持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成」に即し、『ESD-SDGs の理論と実践』を配置します。

- 2. 「実践科目」として「実習科目」と「演習科目」を配置します。 「実習科目」では、授業・指導補助・校務等の経験を通して課題を 探求し解決できる高度な実践力を育みます。「演習科目」では、こ れからの時代を見据えた新しい教育に対応できる実践力を育みま す。
- す。 3.「研究科目」では、自らの課題を解決する研究力と、理論と実践とを架橋できる力量を育みます。また、研究の成果・在学中の学び・身に付けた力量を学位研究報告書としてまとめ、学び続ける態度を育みます。
- の スニー・ 度を育みます。 4.「専門科目」として「学校教育マネジメント科目」「教育発達支 援科目」「教科教育科目」を配置し、各コースに対応する実践力を 育みます。
- (2)教育課程における教育・学修方法に関する方針

本学教員は、学校現場における喫緊の教育課題への対応力、及び「持続可能な社会づくりの担い手」を育成できる高度な専門性と実践力を兼ね備えた教員としての資質・能力についての観点や内容を共有し、協働する体制で教育を進めます。また、学生それぞれのこれまでの経験・知識を活かし、互いに学び合う学修環境、支援体制の整備に努めます。

(3) 学修成果の評価の方針

全授業科目において、本専攻の理念・目的及びカリキュラム・フレームワークに即した到達目標を定め、到達目標並びに評価の基準・方法をシラバスによって学生と教員で共有し、成績評価を的確かつ厳正に行います。また、その成績評価結果や学生による授業評価結果を点検し、カリキュラムの評価・改善を図ることで教育の質の保証に努めます。

(注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学においては、教育課程開発室の下にファカルティ・ディベロップメント(FD)専門部会を設置し、大学 教員の職能成長を推進している。別添①「奈良教育大学教育課程開発室ファカルティ・ディベロップメント 専門部会要項」のとおり

委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和4年度には、オンライン会議を5回(6/6、7/13、9/13、11/7、2/13) 開催し、委員9名のところ平均7.4人が参加した。第1回目の部会で、各委員の業務の分担を決め、FD研修会・交流会、授業評価アンケートなど、各担 当の委員が中心となり各事業の実施に向けた協議を行った。

c 委員会の審議事項等

FDに関する組織的な活動の企画及び実施に関すること、FDの推進に関することについて審議を行っている。

② 実施状況

- a 実施内容
 - (1) FD研修会・交流会の開催
 - (2) 授業評価アンケート
 - (3) 奈良教育大学教員のための研修プログラム

b 実施方法

(1) 各年度2回程度開催しており、年度ごとに、「持続可能な社会の創り手の育成」「多様性をめぐる教育課 題への向き合い方」「コロナ禍における大学での教育活動」「学校教育におけるデジタル・オンライン化への対応」といったその時々における教員の共通課題をテーマに定め、外部講師による講演や教員同士の 交流を通じて、資質能力の向上を図っている。

(2)授業評価アンケー

各学期末に授業評価アンケートを実施し、授業担当教員へ結果を通知している。教員はアンケートに記載された 受講生の意見を踏まえ、授業の工夫・改善を行っている。また、アンケート結果については、学生にも結果を示している。

(3) 奈良教育大学教員のための研修プログラム

A「学校現場、及び本学の教育課題を理解する力量」、B「学校現場への関与と学生の実践的指導力育成 に関わる力量」、C「教育と研究の往還に関わる力量」を身に付けるべき力量として示し、教員養成大学の教員としての実践力を高める研修プログラムを実施している。本学で企画する、学校現場や本学の教育 の教員としての美味力を同める研修とロックなる大地という。本子と出来る。本子に出来る。本子は、本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子に出来る。本子によれません。本子に出来る。本子に出来る。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。本子によれません。まれましまれません。まれままれません。まれましまれません。まれままれません。まれままれません。まれまれません。まれましまれません。まれままれません。 けている。

- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - (1) 令和4年4月6日(水)に「新任大学教員FD研修会」を開催し、4月に着任した教員8名全員が参加した。 令和4年11月30日(水)に「FD砂修会」を開催し、約120名が参加した。 令和5年2月27日(月)に「FD交流会」を開催し、約80名が参加した。 (2)前期授業科目については7月、後期授業科目については1月に学務情報システム掲示板で、学生に
 - 授業評価アンケートの実施について案内し、フォーム (オンライン) で回答を受け付けた。 (3) 令和4年度も継続して専任教員全員 (100%) が研修プログラムを受講し、報告書を提出している。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - (1) FD研修会、FD交流会では、「SDGsの達成に資する教育実践」をテーマに実施し、大学や学校における ESD·SDGsの具体的な実践例とその教育的な効果を学んだ
 - (2) 教員はアンケートに記載された受講生の意見を踏まえ、授業の工夫・改善を行っている。
 - (3)報告書による各教員からの研修報告や要望を踏まえ、本学主催のFD研修会の内容や方法を改善したり。 各教員が学校現場の教育活動に関わる機会を作り提供するなど、研修プログラムを毎年度更新している。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

各学期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業担当教員へアンケート結果を通知し、教員はアンケートに記載された受講生の意見を踏まえ、授業の 工夫・改善を行っている。なお、アンケート結果については、学生にも結果を示している。

(注) · 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

本学の専任教員、県・市・町教育委員会及び連携協力校の代表者を構成員として設置している。 委員の名簿については別添②のとおり。人事異動等により一部委員に変更はあるものの、構成員のバランスは 保たれており、かつ委員数は増となり、より充実した協議ができる体制となった。

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

毎年度末に開催

c 委員会の審議事項等

学校実習をはじめとした教職大学院の教育課程、教育内容等について広く意見聴取する機会としている。本学や各連携協力校の実態、学生の取組、実習の方法等について忌憚なく感想・意見を交換する中で、次年度に向けた改善点を明確化している。これらの機会を活用し、実習の目的や内容、方法はもとより、 教職大学院の趣旨や最新の動向についても説明している。

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

令和4年度末の開催において、以下の点について意見交換・協議を行った。 ・令和4年度学校実習の実施状況について

- ・令和5年度の学校実習等教職大学院の教育内容について
- ・教職大学院への要望等について
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況 委員会での意見を踏まえ、令和5年度の実習体制等を見直した。
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

委員会での協議事項の内容を各指導教員へ共有し対応を依頼するとともに、令和5年度の実習体制、情報共有 の方法・内容等について改善を行った。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学教育学研究科教職開発専攻(専門職学位課程)については、設置の趣旨・目的に沿って概ね計画どおりに 運営がなされている。授業科目の担当教員等に若干変更が生じたものの、学生の履修は支障なく進められている。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表(予定)時期 令和10年3月
 - b 公表方法

大学ホームページ上に公開予定である。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和8年度に教員養成評価機構の専門分野別認証評価、令和10年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の機関 別認証評価を受ける計画である。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書(令和5年度)	
a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕	
≪ a で「有」の場合≫ b 公表(予定)時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内 公表後 2 ~ 3ヶ月以内 ・ 公表後 3ヶ月以降 c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]
≪ a で公表「無」の場合≫ d 公表しない理由 〔]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。